

# 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 ( 南一ト イレ 棟 )

## 設計図

山梨建築設計監理事業協同組合

図 面 リ ス ト

[illegible][illegible]

特記事項	承認	代表設計者 設計担当者	縮尺 A1→N/S A3→N/S 設計年月日	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南→トイレ棟)		南ト A-01 No.
				工事名称	図面名称	
		一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第300579号 丹沢 浩己		図面リスト	

[illegible]

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																								
4章 木造工事	①.1 一般事柄	適用範囲：この章は、[5章軸組工法（壁構造系）工事]を適用する。	④.4 表面仕上げ	◎見掛り面の表面仕上げの程度 機械加工製材の仕上げ：・A種・B種・C種 機械加工構造用集成材の仕上げ：・A種 ※B種 手加工製材の仕上げ：・H-A種・H-B種・H-C種 機械加工丸太の仕上げ：・A種・B種 手加工丸太の仕上げ：・H-A種・H-B種	◎見掛り面の表面仕上げの程度 機械加工製材の仕上げ：・A種・B種・C種 機械加工構造用集成材の仕上げ：・A種 ※B種 手加工製材の仕上げ：・H-A種・H-B種・H-C種 機械加工丸太の仕上げ：・A種・B種 手加工丸太の仕上げ：・H-A種・H-B種	⑧.7 構造用面材による床組	構造用面材による床組の適用：・適用する・適用しない ・根太を設ける床組【・根太と床梁上端高さが同じ・根太と床梁上端高さが違う】 ・根太を設けない床組 ・以下標準仕様書に従い各部材樹種・寸法等を図示する 9.壁 ◇壁の工法等：○下表による（面材等の種類及び厚さ寸法等は図示）○図示・ <table><tr><th>部 位</th><th>仕 口</th><th>接合具等</th><th>留付け方法等</th><th>備 考</th></tr><tr><td>非耐力壁</td><td>短ほぞ差し</td><td>VP金物</td><td></td><td></td></tr><tr><td>軸組耐力壁</td><td>長ほ栓</td><td>CP-T金物</td><td></td><td>筋かい、木摺は6.軸組による</td></tr><tr><td>大壁面材耐力壁</td><td>扇ほぞ差し</td><td>CP-L金物</td><td></td><td>胴縁、受材【・杉・桧・】</td></tr><tr><td>大壁面材耐力壁</td><td></td><td>平金物SM-12</td><td></td><td>床勝ち造</td></tr><tr><td>真壁面材耐力壁</td><td></td><td>かすがいC120、150</td><td></td><td></td></tr><tr><td>鉄筋筋違い</td><td></td><td>HD-B10/B15～25</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>釘2-N38/N50～100</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>GNF32/40・GNC32/40</td><td></td><td></td></tr></table> 仕口凡例：長ほ栓：長ほぞ差し込み栓打ち	部 位	仕 口	接合具等	留付け方法等	備 考	非耐力壁	短ほぞ差し	VP金物			軸組耐力壁	長ほ栓	CP-T金物		筋かい、木摺は6.軸組による	大壁面材耐力壁	扇ほぞ差し	CP-L金物		胴縁、受材【・杉・桧・】	大壁面材耐力壁		平金物SM-12		床勝ち造	真壁面材耐力壁		かすがいC120、150			鉄筋筋違い		HD-B10/B15～25					釘2-N38/N50～100					GNF32/40・GNC32/40			10章 木工事	②.3 合板等	使用部位	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考																																																																																																																																																								
部 位	仕 口	接合具等	留付け方法等	備 考																																																																																																																																																																																																															
非耐力壁	短ほぞ差し	VP金物																																																																																																																																																																																																																	
軸組耐力壁	長ほ栓	CP-T金物		筋かい、木摺は6.軸組による																																																																																																																																																																																																															
大壁面材耐力壁	扇ほぞ差し	CP-L金物		胴縁、受材【・杉・桧・】																																																																																																																																																																																																															
大壁面材耐力壁		平金物SM-12		床勝ち造																																																																																																																																																																																																															
真壁面材耐力壁		かすがいC120、150																																																																																																																																																																																																																	
鉄筋筋違い		HD-B10/B15～25																																																																																																																																																																																																																	
		釘2-N38/N50～100																																																																																																																																																																																																																	
		GNF32/40・GNC32/40																																																																																																																																																																																																																	
①.2 木材断面寸法	木材の断面を表示する寸法は、引出線で部材寸法（短辺×長辺）が示される場合は、引き立て寸法とし、寸法線で部材寸法が記入されている場合は、仕上り寸法とする。（4.1.2）	⑤.3 7㌕㌕の設置等	アンカーボルトの埋込み深さ：○図示・ アンカーボルトの保持、埋込み工法：・A種○B種 無収縮モルタルの適用：・適用する・適用しない 均しめ材の仕上げ	⑤.4 基礎天端及び柱底	仕上り	1等	なし	天然木化粧加工	◇JAS以外の造作用単板積層材：・下表による（寸法は図示）・図示・ <table><tr><th>使用部位</th><th>含水率</th><th>仕上げ</th><th>表面の品質</th><th>防腐防蟻処理</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td>※14%</td><td>仕上り</td><td>1等</td><td>なし</td><td>天然木化粧加工</td></tr><tr><td></td><td></td><td>仕上り</td><td>2等</td><td></td><td>塗装加工</td></tr><tr><td></td><td></td><td>未仕上</td><td>3等</td><td></td><td></td></tr></table> ◇JASによる普通合板 <table><tr><th>使用部位</th><th>表板樹種名</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>等級・処理・寸法等</th></tr><tr><td></td><td>㌕㌕</td><td>※5.5</td><td>※1類</td><td>※2等</td><td>・図示</td></tr><tr><td></td><td>㌕㌕</td><td>9</td><td>2類</td><td>1等</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>12</td><td></td><td>※C-D</td><td></td></tr></table> ◇JASによる構造用合板 <table><tr><th>使用部位</th><th>表板樹種名</th><th>等級</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>処理・寸法等</th></tr><tr><td>○内壁耐力壁</td><td>針葉樹</td><td>1級</td><td>特類</td><td>A-B</td><td>F☆☆☆☆/防虫処理材</td></tr><tr><td></td><td>㌕㌕</td><td>2級</td><td>1類</td><td>B-C</td><td></td></tr><tr><td></td><td>㌕㌕</td><td></td><td></td><td>D-D</td><td></td></tr></table> ◎化粧ばり構造用合板◇JASによる化粧ばり構造用合板 <table><tr><th>使用部位</th><th>表板樹種名</th><th>等級</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>処理・寸法等</th></tr><tr><td>・内壁耐力壁</td><td>針葉樹</td><td>1級</td><td>特類</td><td>A-B</td><td>F☆☆☆☆/防虫処理材</td></tr><tr><td></td><td>㌕㌕</td><td>2級</td><td>1類</td><td>B-C</td><td></td></tr><tr><td></td><td>㌕㌕</td><td></td><td></td><td>D-D</td><td></td></tr></table> ◎天然木化粧合板 施工部位：・図示・ 厚さ寸法：・図示・3.2mm・4.2mm・6mm・ 接着の程度：・1類・2類 単板の樹種：・図示・㌕㌕・㌕㌕・ 難燃処理：・する・しない 防虫処理：・する・しない ◎特殊加工化粧合板 施工部位：・図示・ 厚さ寸法：・図示・3.0mm・4.0mm・5.0mm・6.0mm・ 接着の程度：・1類・2類 表面性能：・F・FW・W・SW 化粧加工の方法：・片面・両面 ◇パーティクルボード <table><tr><th>使用部位</th><th>厚さ (mm)</th><th>曲げの区分</th><th>接着の区分</th><th>難燃性区分</th><th>等級・処理・寸法等</th></tr><tr><td></td><td>※15</td><td></td><td></td><td>※13P/M</td><td>・図示</td></tr><tr><td></td><td>18</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◇JASによる構造用パネル <table><tr><th>使用部位</th><th>品 名</th><th>厚さ (mm)</th><th>曲げ等級</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td>図示</td><td>1級・2級</td><td>ォーレイ/防虫処理材</td></tr><tr><td></td><td></td><td>25</td><td>3級・4級</td><td>・プリント・塗装/防虫未処理</td></tr></table> ◇ミディアムデンシティファイバーボード(構造用MDF) <table><tr><th>使用部位</th><th>厚さ (mm)</th><th>表面状態区分</th><th>曲げの区分</th><th>接着の区分</th><th>難燃性区分</th><th>備 考</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・RN・RS</td><td>・30・25</td><td>U</td><td>難燃2</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・DV・DO・DC</td><td>・15・5</td><td>M</td><td>難燃3</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>P</td><td></td><td></td></tr></table> ◎釘 特殊な釘等の形状・寸法等：・図示・ 下地材への釘の本数及び間隔等：○図示・ 仕上り釘打ちの工法：※隠し釘打ち・釘頭埋め木・つぶし頭釘打ち・釘頭現し ◎木ねじ 木ねじの種類：○十字穴付き木ねじ・ドリリングﾀｲﾋﾟﾝｸﾞねじ・ 3.1 耐候性処理 ●公18章 塗装工事 ⑬.2.2 塗料塗り 3.2 防虫処理 ⑧.1 外壁下地材料							使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考		※14%	仕上り	1等	なし	天然木化粧加工			仕上り	2等		塗装加工			未仕上	3等			使用部位	表板樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等		㌕㌕	※5.5	※1類	※2等	・図示		㌕㌕	9	2類	1等				12		※C-D		使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等	○内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材		㌕㌕	2級	1類	B-C			㌕㌕			D-D		使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等	・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材		㌕㌕	2級	1類	B-C			㌕㌕			D-D		使用部位	厚さ (mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等		※15			※13P/M	・図示		18					使用部位	品 名	厚さ (mm)	曲げ等級	備 考			図示	1級・2級	ォーレイ/防虫処理材			25	3級・4級	・プリント・塗装/防虫未処理	使用部位	厚さ (mm)	表面状態区分	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考			・RN・RS	・30・25	U	難燃2				・DV・DO・DC	・15・5	M	難燃3						P																																									
使用部位	含水率	仕上げ	表面の品質	防腐防蟻処理	備 考																																																																																																																																																																																																														
	※14%	仕上り	1等	なし	天然木化粧加工																																																																																																																																																																																																														
		仕上り	2等		塗装加工																																																																																																																																																																																																														
		未仕上	3等																																																																																																																																																																																																																
使用部位	表板樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	等級・処理・寸法等																																																																																																																																																																																																														
	㌕㌕	※5.5	※1類	※2等	・図示																																																																																																																																																																																																														
	㌕㌕	9	2類	1等																																																																																																																																																																																																															
		12		※C-D																																																																																																																																																																																																															
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等																																																																																																																																																																																																														
○内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材																																																																																																																																																																																																														
	㌕㌕	2級	1類	B-C																																																																																																																																																																																																															
	㌕㌕			D-D																																																																																																																																																																																																															
使用部位	表板樹種名	等級	接着の程度	板面の品質	処理・寸法等																																																																																																																																																																																																														
・内壁耐力壁	針葉樹	1級	特類	A-B	F☆☆☆☆/防虫処理材																																																																																																																																																																																																														
	㌕㌕	2級	1類	B-C																																																																																																																																																																																																															
	㌕㌕			D-D																																																																																																																																																																																																															
使用部位	厚さ (mm)	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	等級・処理・寸法等																																																																																																																																																																																																														
	※15			※13P/M	・図示																																																																																																																																																																																																														
	18																																																																																																																																																																																																																		
使用部位	品 名	厚さ (mm)	曲げ等級	備 考																																																																																																																																																																																																															
		図示	1級・2級	ォーレイ/防虫処理材																																																																																																																																																																																																															
		25	3級・4級	・プリント・塗装/防虫未処理																																																																																																																																																																																																															
使用部位	厚さ (mm)	表面状態区分	曲げの区分	接着の区分	難燃性区分	備 考																																																																																																																																																																																																													
		・RN・RS	・30・25	U	難燃2																																																																																																																																																																																																														
		・DV・DO・DC	・15・5	M	難燃3																																																																																																																																																																																																														
				P																																																																																																																																																																																																															
①.3 ホルムアルデヒド放散量	JAS・JIS規格品 ※F☆☆☆☆品等木標仕(4.1.3(1) (7) (4))による。 その他の材料 ※上記規格品に準する・図示	⑤.4 基礎天端及び柱底	無収縮モルタルの厚さ：・10mm ※20mm・30mm 建方精度の許容値：※1/1,000・1/500 結露防止用現場発泡断熱材の厚さ：・20mm・30mm・ 接合部の接合具材料等の種類等：・図示・ 部位ごとの釘の種類及び間隔等：○図示・ 仕上り釘打ちの工法：・隠し釘打ち・釘頭埋め木・つぶし頭釘打ち・釘頭現し 種類及び形状等：○図示・ 寸法等：○図示・ 仕上げ材へのボルトの取付方法：○図示・埋木・表し・	⑤.9 釘及び木ねじの工法	仕上り	2等		塗装加工																																																																																																																																																																																																											
②.1 防腐・防蟻処理	◎薬剤の加圧注入による処理 処理木材（部位）性能区分備 考 製材・K2・K3・K4 合板・K2・K3・K4 集成材 薬剤の塗布による防腐・防蟻処理の方法：※標準仕様書による・ 原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理の方法：・図示・	⑤.10 各種材の工法	5.11.12.13工法	⑤.9 釘及び木ねじの工法	仕上り	2等		塗装加工																																																																																																																																																																																																											
2.2 ***による床下の防蟻処理	木組床下の地盤に接する床下の構造：・鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄのべた基礎・土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 基礎又は土間ｺﾝｸﾘｰﾄの配筋：・図示・	⑤.11 12.13工法		⑤.9 釘及び木ねじの工法	仕上り	2等		塗装加工																																																																																																																																																																																																											
2.3 地盤の土壌の防蟻処理	地盤土壌の防蟻処理：・行う・行わない 使用薬剤：・図示・ 薬剤の使用量：・図示・ 床下換気の換気孔：・ねこ土台・換気孔・ 小屋裏換気の方法：○両壁壁換気孔○軒裏換気孔・妻壁軒裏併用換気孔 ・排気塔・軒裏（妻壁）給気／棟排気孔 主要構造部分の柱若しくは梁を接合する継手又は仕口に用いる接合金物等の防火被覆処理に適用するなお、適用は特記による 防火被覆材の材料強度及び厚さは、特記による	⑤.12 13工法		⑤.9 釘及び木ねじの工法	仕上り	2等		塗装加工																																																																																																																																																																																																											
②.4 防腐措置		⑤.13 14工法		⑤.9 釘及び木ねじの工法	仕上り	2等		塗装加工																																																																																																																																																																																																											
3.2 防火被覆材		⑤.15 16工法		⑤.9 釘及び木ねじの工法	仕上り	2等		塗装加工																																																																																																																																																																																																											
5章 軸組工法（壁構造系）工事	②.2 木材	2.材 料 ◎製 材 ◇JASによる目視等級区分／機械等級区分構造用製材：・下表による（寸法は図示）○図示・ <table><tr><th rowspan="2">使用部材</th><th rowspan="2">樹 種</th><th colspan="2">強度等級</th><th rowspan="2">化粧等級</th><th rowspan="2">含水率</th><th rowspan="2">仕上げ</th><th rowspan="2">防腐防蟻処理</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>目視</th><th>機械</th></tr><tr><td>土台</td><td>桧</td><td></td><td>E90</td><td>特1等</td><td>SD15</td><td>ﾌﾞﾚｰﾅｰ</td><td>高耐久材</td><td></td></tr><tr><td>通柱</td><td>桧</td><td></td><td>E90</td><td>上小節</td><td>SD20</td><td>ﾌﾞﾚｰﾅｰ</td><td>高耐久材</td><td></td></tr><tr><td>管柱</td><td>桧</td><td></td><td>E70</td><td></td><td></td><td>ﾌﾞﾚｰﾅｰ</td><td>高耐久材</td><td></td></tr><tr><td>化粧管柱</td><td>杉</td><td></td><td>E70</td><td></td><td></td><td>ﾀﾞﾝﾀﾞｰ</td><td>現場塗布処理</td><td></td></tr><tr><td>桁</td><td></td><td>甲Ⅰ・1級</td><td></td><td></td><td>D15</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>胴差</td><td></td><td>甲Ⅱ・2級</td><td></td><td></td><td>D20</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>梁</td><td></td><td>乙・3級</td><td></td><td></td><td>D25</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>桁</td><td>桧</td><td></td><td>E90</td><td>特1等</td><td>SD15</td><td>ﾌﾞﾚｰﾅｰ</td><td>高耐久材</td><td></td></tr><tr><td>胴差</td><td>桧</td><td></td><td>E90</td><td>上小節</td><td>SD20</td><td>ﾌﾞﾚｰﾅｰ</td><td>高耐久材</td><td></td></tr><tr><td>梁</td><td>桧</td><td></td><td>E70</td><td></td><td></td><td>ﾌﾞﾚｰﾅｰ</td><td>高耐久材</td><td></td></tr><tr><td>束</td><td>杉</td><td></td><td>E70</td><td></td><td></td><td>ﾀﾞﾝﾀﾞｰ</td><td>GL+1.00mまで現場塗布処理</td><td></td></tr><tr><td>大引き</td><td></td><td>甲Ⅰ・1級</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>現場塗布処理</td><td></td></tr><tr><td>根太</td><td></td><td>甲Ⅰ・1級</td><td></td><td></td><td>D15</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>根柢み貫</td><td></td><td>甲Ⅱ・2級</td><td></td><td></td><td>D20</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>合板受材</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>間柱</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>火打梁</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>小屋束</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>母屋</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>棟木</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>垂木</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>雲筋交い</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◇JASによる広葉樹製材：○標準仕様書表による（樹種・寸法は図示）・図示・ ◇JAS以外の製材：○標準仕様書表による（樹種・寸法は図示）・図示・ ◇JASによる下地用針葉樹製材：○標準仕様書表による（樹種・寸法は図示）・図示・ ◇JASによる構造用集成材：○標準仕様書表による（強度等級等・寸法は図示）・図示・ ◇JASによる化粧ばり構造用集成柱：・標準仕様書表による（強度等級等・寸法は図示）・図示・ ◇JASによる甲種枠組製材：・標準仕様書表による（樹種・寸法は図示）・図示・ ◇JASによる乙種枠組製材：・標準仕様書表による（樹種・寸法は図示）・図示・ ◇JASによるMSR製材：・標準仕様書表による（樹種・寸法は図示）・図示・	使用部材	樹 種	強度等級		化粧等級	含水率	仕上げ	防腐防蟻処理	備 考	目視	機械	土台	桧		E90	特1等	SD15	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材		通柱	桧		E90	上小節	SD20	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材		管柱	桧		E70			ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材		化粧管柱	杉		E70			ﾀﾞﾝﾀﾞｰ	現場塗布処理		桁		甲Ⅰ・1級			D15				胴差		甲Ⅱ・2級			D20				梁		乙・3級			D25				桁	桧		E90	特1等	SD15	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材		胴差	桧		E90	上小節	SD20	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材		梁	桧		E70			ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材		束	杉		E70			ﾀﾞﾝﾀﾞｰ	GL+1.00mまで現場塗布処理		大引き		甲Ⅰ・1級					現場塗布処理		根太		甲Ⅰ・1級			D15				根柢み貫		甲Ⅱ・2級			D20				合板受材									間柱									火打梁									小屋束									母屋									棟木									垂木									雲筋交い								
使用部材	樹 種	強度等級			化粧等級	含水率						仕上げ	防腐防蟻処理	備 考																																																																																																																																																																																																					
		目視	機械																																																																																																																																																																																																																
土台	桧		E90	特1等	SD15	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材																																																																																																																																																																																																												
通柱	桧		E90	上小節	SD20	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材																																																																																																																																																																																																												
管柱	桧		E70			ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材																																																																																																																																																																																																												
化粧管柱	杉		E70			ﾀﾞﾝﾀﾞｰ	現場塗布処理																																																																																																																																																																																																												
桁		甲Ⅰ・1級			D15																																																																																																																																																																																																														
胴差		甲Ⅱ・2級			D20																																																																																																																																																																																																														
梁		乙・3級			D25																																																																																																																																																																																																														
桁	桧		E90	特1等	SD15	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材																																																																																																																																																																																																												
胴差	桧		E90	上小節	SD20	ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材																																																																																																																																																																																																												
梁	桧		E70			ﾌﾞﾚｰﾅｰ	高耐久材																																																																																																																																																																																																												
束	杉		E70			ﾀﾞﾝﾀﾞｰ	GL+1.00mまで現場塗布処理																																																																																																																																																																																																												
大引き		甲Ⅰ・1級					現場塗布処理																																																																																																																																																																																																												
根太		甲Ⅰ・1級			D15																																																																																																																																																																																																														
根柢み貫		甲Ⅱ・2級			D20																																																																																																																																																																																																														
合板受材																																																																																																																																																																																																																			
間柱																																																																																																																																																																																																																			
火打梁																																																																																																																																																																																																																			
小屋束																																																																																																																																																																																																																			
母屋																																																																																																																																																																																																																			
棟木																																																																																																																																																																																																																			
垂木																																																																																																																																																																																																																			
雲筋交い																																																																																																																																																																																																																			
②.3 構造用面材	◇構造用パーティクルボード他 標準仕様書表による（使用部材厚み等を図示）																																																																																																																																																																																																																		
②.4 接合金物	◎接合金物 屋外環境下の仕様金物：※ｽﾃｰﾚｽ製・溶融亜鉛めっき製・ 接合金物の適用：○標準仕様書5.2.4(1)(a)；Z,C㌕金物 ・標準仕様書5.2.4(1)(b)；D,S㌕金物 ・標準仕様書5.2.4(1)(c)；【形状等：・図示・】																																																																																																																																																																																																																		
④.2 仕口及び継手の形状加工	仕口及び継手の工法：・図示○ﾌﾟﾚｰﾄ工法・伝統工法・																																																																																																																																																																																																																		
④.3 孔あけ加工	ボルトの孔径：※表5.4.2による・図示・ ドリフトピンの孔径：※ﾋﾞﾝ径と同径・図示・																																																																																																																																																																																																																		
特 記 事 項			山梨建築設計監理事業協同組合			遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南トイレ棟)		南ト A-03 No.																																																																																																																																																																																																											



11章

防水工事

2. FRP系塗膜防水

2.2 材料

2.4 施工

3. シーリング

3.\* 保証年限

3.5 シーリング材の試験

4. 透 waterproofシート

4.2 材料

4.3 施工

5. ㏽酸系塗布防水

5.1 一般事項

12章

石工事

13章

タイル工事

2.2 材料

2.7 施工

3.2 材料

3.7 施工

14章

屋根及びびとい工事

2.2 材料

3.1 一般事項

3.2 材料

3.3 加工

14章

屋根及びびとい工事

3.4 平葺（一文字葺）の工法

3.5 心木あり瓦棒葺の工法

3.6 心木なし瓦棒葺の工法

3.7 横葺の工法

3.8 立平葺の工法

4.2 材料

4.3 工法

5.2 材料

5.2 材料

5.3 工法

6.2 材料

6.3 工法

7.2 材料

7.3 工法

8.2 材料

15章

金属工事

1 共通事項

●公14章 金属工事 ●公2. 表面処理

公2.1 ステンレスの表面仕上 材質： ○図示 ・SUS304 ・SUS430 ・

種 別	施工箇所
※HL仕上げ	
・ﾊﾞﾌ(#400)	
・Na2B	

公2.2 ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理 表面処理： ・下表による ※標準仕様書による

種 別	表面処理	施工箇所
・AB-1種	標準仕様書による	
・BB-2種	標準仕様書による	
・BA-1種	標準仕様書による	
・C種	・ﾌﾗｸﾞﾙ樹脂焼付塗装 ・ﾌﾟﾚｰﾄ樹脂焼付塗装	

陽極酸化皮膜の着色方法： ※二次電解着色 ・ﾌﾗｸﾞﾙ樹脂焼付塗装  
・静電塗装 ・ふっ素樹脂焼付塗装

公2.3 鉄鋼の亜鉛めっき

表面処理方法	種 別	施工箇所
・溶融亜鉛めっき	・A種 ・B種 ・C種	
・電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種	

●公2. 下 地

公2.4 ラス系下地

公共建築工事標準仕様書15章による

ラス系下地の種類： ・ﾌﾞﾙｰﾏﾙﾄﾞ下地 ・ﾌﾗｽﾄｰﾓﾙﾄﾞ下地 ・図示

ラス下地板の指定： ・耐力壁仕様 ・防火構造 ・準耐火構造 ・図示

ラスシート下地の指定： ・耐力壁 ・図示

種 類	厚さ(mm)	施工箇所
・GB-R	12.5	
・GB-F	15	
・木毛ﾎﾞｰﾄﾞ	20	
・硬質木片ﾎﾞｰﾄﾞ	18	

こまい下地の指定： ・耐力壁 ・図示

網の材質： ※合成樹脂製 ※ｽﾃﾝﾚｽ製 ・ｶﾞｽ繊維入り合成樹脂製

形式： ○外面納まり可動式 ・外面納まり固定式

モルタル： ・現場調合材料 ○既調合材料

既製目地： ・適用 ○不適用

既製目地の形状寸法等： ・図示 ・

床の目地： ○設ける ・設けない

工法： ※押し目地 ・切り目地 ・

外壁タイル下地モルタルの接着力試験： ・行う ・行わない

品質： ○ﾎﾞｰﾄﾞ系 ・せっこう系 ・

厚さ： ※10mm ・図示

◎複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・

材料の防火指定： ・無 ・有（

種類（呼び名）	仕上げる形状	工 法

◎厚付仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・

材料の防火指定： ・無 ・有（

種類（呼び名）	仕上げる形状	工 法

◎複層仕上塗材の施工箇所： ・図示 ・

材料の防火指定： ・無 ・有（不燃認定品

種類（呼び名）	仕上げる形状	工 法

耐候性： ※耐候形3種 ・

上塗材溶媒： ※水系 ・

上塗材樹脂： ※ｱｸﾘﾙ系 ・

上塗材外観： ※つやあり ・つやなし ・ﾌﾗｯｸ ・

防水形の増塗材の適用： ・する ・しない

種別： ・A種 ・B種

せっこうプラスター： ・現場調合材料 ・既調合材料

しっくい： ・現場調合材料 ・既調合材料(種類等： )

土壁用のり： ・ふのり ※つのまた ・ぎんなんそう ・粉末海藻 ・図示

大津壁用のり： ※ふのり ・つのまた ・こんにやくのり ・にかわ  
・合成高分子系混和剤 ・図示

色土： ・土物仕上げ用(種類： )  
・大津仕上げ用(種類： )

色砂： ・天然砂 ・岩石の砕砂 ・人工着色砂 ・

塗厚： ※表15.11.8による ・図示

工程の種類： ※A種 ・B種

●公7. ﾏｯﾁｬ塗材塗

公7.2 材料

●公8. 石膏ﾌﾗｯｸ-塗

公8.2 材料

●公10. しっくい塗り

公10.2 材料

●公11. こまい壁塗り

公11.2 材料

●公11.4 塗 厚

公11.5 工 程

承認

代表設計者

設計担当者

縮 尺

一級建築士  
第145710号

一級建築士  
第300579号

設計年月日

工事名称

図面名称

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事  
(南一トイレ棟)

木造特記仕様書（3）

特 記 事 項

特 記 事 項

南ト A-04  
No.

章	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																							
17章  建具工事	公2 材料	●公7. 木製建具 建具材の加工、組立て時の含水率の種類： ・A種 ※B種 ・C種  合板類の適用： ・適用 ・適用しない ○図示 種類： ・ラワン合板 ・桧合板 ○図示 ・ かまち戸の樹種： ・桧 ・杉 ・ラワン 鏡板の樹種： ・杉 ・桧 ・ケヤキ ・杉 ・ラワン ふすまの上張りの種類： ・本鳥の子 ・新鳥の子 ・ビニル紙 ・  フラッシュ戸の表面板の厚さ： ※表16.7.6による ・ かまち戸の見込寸法： ○図示 ※36mm ・ ふすまの見込寸法： ・図示 ※19.5mm ・ 戸ぶすまの見込寸法： ・図示 ※30mm ・ 紙貼障子の見込寸法： ・図示 ※30mm ・ ふすまの工法： ・Ⅰ型 ・Ⅱ型 ・ ふすまの縁の仕上げ： ・図示 ・本漆塗り ・カヌー塗り ・ウレタン塗装 ・素木 ・  ●公8. 建具用金物 適用範囲： ・建具製作所仕様以外の金物（ 金物の種類、材質： ※表16.8.11による ・ 軸吊りヒンジ： ・自閉装置付き ・自閉装置なし ドアクローザーのディレードアクション（遅延閉）機能の適用： ○適用 ・適用しない 戸当り： ・あおり止め(フック)付き ○あおり止め(フック)付きなし 樹脂製建具の丁番： ※表16.8.31による ・ マスターキー： ○製作する ・製作しない ・マスターキーの製作については施設管理者及び監督員と協議する。 マスターキーの系統： ○Ⅰ系統 鍵箱の適用： ○必要 ・不必要 ●公12. 軽量シャッター 開閉形式： ※手動式 ・上部電動式（手動併用） ・ 〈開閉形式〉： ※手動式 ・上部電動式（手動併用） ・ 耐風圧性能： ・50 ・80 ・120 ・ スラット等鋼板の種類： ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板  溶融亜鉛めっきの付着量： ・Z06(F06) ・AZ90 ・ スラットの形状： ・インナーロッキング形 ・オーバーラッピング形 ●公14. ガラス ガラスの種類： ○図示 ・ ガラス留め材 建具の種類 種類・材質 ○アルミ製 ・シーリング材 ※ガスケット ・パテ材（1種 ・2種） ○鋼製 ※シーリング材 ・パテ材（1種 ・2種） ・ステンレス製 ※シーリング材 ・パテ材（1種 ・2種） ○木製 ※シーリング材 ・パテ材（木製用 ・ ） 金属性製建具用パテはJISA5752による。 ガラス溝の大きさ： ※製造所仕様による ・図示 熱線反射ガラスの映像調整： ・行う ・行わない	18章  塗装工事	公6 2 アクリル***塗り	●公6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD） 種類： ・A種 ※B種 ●公7. 耐候性塗料塗り（DP） 上塗り塗料の等級： ・1級 ・2級 ・3級 上塗り塗料の等級： ・1級 ・2級 ・3級 種類： ・A種 ・B種 ・C種 ●公8. つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G） コンクリート面： ・A種 ※B種 モルタル面： ・A種 ※B種 プラスター面： ・A種 ※B種 せっこうボード面： ・A種 ※B種 その他ボード面： ・A種 ※B種 種類： ・A種 ※B種 ●公9. 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP） 種類： ・A種 ※B種 ●公10. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T） コンクリート面： ・A種 ※B種 モルタル面： ・A種 ※B種 プラスター面： ・A種 ※B種 せっこうボード面： ・A種 ※B種 その他ボード面： ・A種 ※B種 ●公11. ウレタン樹脂ワニス塗り（UC） 種類： ・A種 ※B種 ●公12. オイルステイン塗り（OS） 塗料の種類： ・図示 ・ ●公13. 木材保護塗料塗り（WP） 種類： ・A種 ※B種	19章  内装工事	公5.2 材料 公5.3～5.5 **工法	タフテッドカーベットの工法： ・グリップ-工法 ・全面接着工法 ・ 織じゅうたんの接合方法： ※ヒート&ブンド工法 ・手縫い(づづり縫い) タイルカーベットの敷き方（平場）： ※市松敷き ・ （階段部分）： ※模様流し ・  ●公5. フローリング張り フローリング： ※F☆☆☆☆ ・図示 接着剤： ※F☆☆☆☆ ・図示	20章  断熱・防露・ユニット及びその他工事	公2.1 断熱材、防湿材の施工	充填断熱工法： ※標準仕様書20.1.4(3)(7)による ・ 外張断熱工法： ※標準仕様書20.1.4(3)(4)による ・ 外張断熱材の防蟻処理： ・行う ・行わない ・防蟻処理済み断熱材を使用 防湿層の施工： ※施工する ・施工しない 床下点検口の材質、寸法、取付位置等： ・図示 ・ 小屋裏点検口の材質、寸法、取付位置等： ・図示 ・ 各部位の工法： ※標準仕様書20.1.5による ・図示 ・ 床の施工（防止通気孔の設置）： ※設置する ○設置しない 天井点検口の材質、寸法、取付位置等： ○図示 ・ 気流止めの施工部位： ・図示 ・ 気密材の材料： ・図示 ・ 気密措置の工法： ・図示 ・																																																				
	公7.4 工法	公8.4 鉄鋼面***塗り		公5.6 現場塗装仕上	公2.2 フリーアクセスフロア	●公20章 ユニット及びその他の工事	●公2. ユニット及びその他の工事等																																																								
	公8 1 一般事項 公8 2 材質、形状及び寸法	公9 2 合成樹脂***塗り		公6.2 材料	公2.5 トイレブース	断熱性能： ・0.6G ・1.0G ・ 所定荷重： ・3,000N ・5,000N ・ 耐衝撃性能： ・0.6G ・1.0G ・ 帯電防止性能： ・ 漏えい抵抗： ・ △試験 耐荷重性能： ※標準仕様書による ・ 耐衝撃性能： ※標準仕様書による ・ ローリングロード性能： ※標準仕様書による ・ 耐燃焼性能： ※標準仕様書による ・ 適用地震時水平力 寸法精度： ※±0.5mm ・ パネル表面材質： ・ラミネ樹脂化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・ パネルの熱伝導率の放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ 脚部の形状： ※幅木型 ・足金物型 材質： ・ステンレス製タテ入り ・床材一体型ビニルシート 形状・寸法： ・図示 ・ 取付工法： ※接着工法 ・埋込み工法 黒板の種類／色彩／枠： ・焼付け／緑／アルミ合金 ・焼付け／黒／木製 ・ ホワイトボード： ・図示 ・壁掛け型 ・脚付き自立型 ホワイトボードの種類／色彩／枠： ・ほうろう／白／アルミ合金 ・ 厚さ： ・5mm ・8mm ・																																																									
	公8 4 鍵	公10.2 コンクリート面***塗り		公7.2 材料 公7.3 工法	公2.6 階段滑り止め	公2.8 黒板及びホワイトボード	ホワイトボード： ・図示 ・壁掛け型 ・脚付き自立型 ホワイトボードの種類／色彩／枠： ・ほうろう／白／アルミ合金 ・ 厚さ： ・5mm ・8mm ・																																																								
	公12.2 形式及び機構	公11.2 ウレタン樹脂ワニス塗り		公8.2 材料	公2.9 鏡	公2.10 表示	●公2. 断熱・防露 断熱地域区分： ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ ・Ⅴ ・Ⅵ 断熱材の熱伝導率の放散量： ※F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・ 断熱材の種類： ・図示 ・下表による ・ <table><thead><tr><th>施工部位</th><th>分類</th><th>材料名</th><th>規格・寸法等(mm)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>○屋根</td><td>○天井</td><td>フェルト状</td><td>グラスウール</td><td>24K相当・t=100mm</td></tr><tr><td>・天井</td><td>ボード状</td><td>高性能グラスウール</td><td>A種・保温板4号・t=50</td><td></td></tr><tr><td>・大壁（断熱部位）</td><td>ばら状</td><td>ロックウール</td><td>A種・保温板1種Ⅰ号・t=50</td><td></td></tr><tr><td>・真壁（断熱部位）</td><td>現場発泡</td><td>グラスウールボード</td><td>65K</td><td></td></tr><tr><td>・外気に接する床</td><td></td><td>ロックウールボード</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○その他の床</td><td></td><td>ビーズ法グラスウールフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td></td><td>押出法グラスウールフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>硬質ウレタンフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>グラスウールフォーム</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>セルロースファイバー</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ○素地ごしらえ モルタル面及びプラスター面： ・A種 ※B種 せっこうボード及びその他ボード面： ・A種 ※B種	施工部位		分類	材料名	規格・寸法等(mm)	備考	○屋根	○天井	フェルト状	グラスウール	24K相当・t=100mm	・天井	ボード状	高性能グラスウール	A種・保温板4号・t=50		・大壁（断熱部位）	ばら状	ロックウール	A種・保温板1種Ⅰ号・t=50		・真壁（断熱部位）	現場発泡	グラスウールボード	65K		・外気に接する床		ロックウールボード			○その他の床		ビーズ法グラスウールフォーム			・		押出法グラスウールフォーム					硬質ウレタンフォーム					グラスウールフォーム					セルロースファイバー		
	施工部位	分類		材料名	規格・寸法等(mm)	備考																																																									
	○屋根	○天井		フェルト状	グラスウール	24K相当・t=100mm																																																									
	・天井	ボード状		高性能グラスウール	A種・保温板4号・t=50																																																										
	・大壁（断熱部位）	ばら状		ロックウール	A種・保温板1種Ⅰ号・t=50																																																										
	・真壁（断熱部位）	現場発泡		グラスウールボード	65K																																																										
・外気に接する床		ロックウールボード																																																													
○その他の床		ビーズ法グラスウールフォーム																																																													
・		押出法グラスウールフォーム																																																													
		硬質ウレタンフォーム																																																													
		グラスウールフォーム																																																													
		セルロースファイバー																																																													
公12.4 形状及び仕上	公12.2 形式及び機構	公8.2 材料	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.2 材料	公13.2 木材保護***塗り	公11.2 ウレタン樹脂ワニス塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.3 ガラス溝の寸法、形状等	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ○必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ○横張り工法 ・図示 金具止め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 釘留め工法における建具上部の雨水排出路の設置： ○設置する ・設置しない 換気口部の防水措置： ○標準仕様書20.3.2(3)(c)による ・ 金具止め工法における強風地域の補強方法： ○製造所仕様による ・図示 現場仕上塗装の下地処理： ・図示 ・ サイディング材の種類等： ・メーカーによる ・図示 通気胴縁の材質： ※杉 ・桧 ○図示 ・ 通気胴縁の防蟻処理： ・必要 ・不要 サイディングの工法： ・縦張り工法 ・横張り工法 ・図示																																																										
公14.4 工法	公14.4 工法	公13.2 木材保護***塗り	公2.14 カテン及びカテンレール	カテンレール	サイディング材の種類等： ○メーカーによる ○図示 																																																										







木 造 軸 組 接 合 部 標 準 図 ( 1 )

1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
<p>( 1 ) 適用範囲</p> <p>※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。</p> <p>木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。</p> <p>( 2 ) 設計図書</p> <p>設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。</p> <p>( 3 ) 準拠する図書</p> <p>設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）</p> <p>「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）</p> <p>「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）</p> <p>「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版）」（日本住宅・木材技術センター）</p> <p>「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）</p> <p>上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>( 4 ) 設計図書の優先順位</p> <p>設計図書の優先順位は下記による。</p> <p>1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書）</p> <p>2. 設計図</p> <p>3. 特記仕様書</p> <p>4. 本標準図</p> <p>( 5 ) 疑義</p> <p>疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>( 6 ) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出</p> <p>工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>( 7 ) 施工図及びプレカット図の提出</p> <p>工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>( 8 ) 製作工場の選定、承諾</p> <p>設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける</p> <p>( 9 ) 各種試験・検査報告書の提出</p> <p>施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p> <p>(10) 接合工法</p> <p>本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。</p> <p>・継手仕口による在来工法</p> <p>・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法</p> <p>なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。</p> <p>また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。</p> <p>本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。</p> <p>(11) 加工部材に関する留意事項</p> <p>本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。</p> <p>・梁:部材断面が幅90mm～150mm、梁成が幅と同寸～450mm、及び材長6m以下</p> <p>・柱:90角～150角の正方形断面、長さ6m以下</p> <p>これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。</p>	<p>( 1 ) 木材及び木質材料</p> <p>主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。</p> <p>( 2 ) 接合具</p> <p>a)くぎ</p> <p>主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または太め鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。</p> <p>b)木質構造用ビス</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。</p> <p>使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>c)ボルト・ナット・座金</p> <p>1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。</p> <p>・ボルトはJIS B 1051 ,ナットはJIS B 1052 に規定される機械的性質を満たす炭素鋼</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット</p> <p>【 Z マーク表示金物 】</p> <p>【 D マーク表示金物 】</p> <p>【 S マーク表示金物 】</p> <p>・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット</p> <p>2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJISB0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。</p> <p>3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。</p> <p>※ ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。</p> <p>d)ドリフトピン・ラグスクリュー</p> <p>主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>e)木栓・木ダボ</p> <p>主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。</p> <p>樹種・径等については、特記仕様書で指定する。</p> <p>節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。</p> <p>( 3 ) 接合金物</p> <p>a)規格金物</p> <p>構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。</p> <p>・JIS A 5531：木構造用金物</p> <p>・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物；</p> <p>Z マーク表示金物、又は C マーク表示金物</p> <p>・同等認定金物；D マーク表示金物</p> <p>・性能認定金物；S マーク表示金物</p> <p>上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。</p> <p>使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。</p> <p>b)製作金物</p> <p>製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。</p> <p>( 4 ) 接着剤</p> <p>原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。</p> <p>建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。</p> <p>( 5 ) 防腐防蟻処理及び耐候処理</p> <p>防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。</p> <p>土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。</p> <p>適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。</p>	<p>※共通事項</p> <p>・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。</p> <p>( 1 ) 土台固定用アンカーボルト</p> <p>a).アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。</p> <p>-1.耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部；</p> <p>耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。</p> <p>200 程度</p> <p>引張金物専用アンカーボルト M16以上 埋込み長さ ≥ 360 mm</p> <p>土台</p> <p>基礎天端</p> <p>250 程度</p> <p>柱</p> <p>土台</p> <p>（見下げ）</p> <p>アンカーボルト</p> <p>※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>-2.土台切れの端部及び、土台の継手仕口；</p> <p>土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、男木の端部に設ける。</p> <p>当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。</p> <p>継手の場合</p> <p>男木</p> <p>女木</p> <p>土台</p> <p>（見下げ）</p> <p>アンカーボルト</p> <p>男木</p> <p>女木</p> <p>250 程度</p> <p>70 程度</p> <p>基礎天端</p> <p>※ J型及びL型アンカーボルトを用いる場合の必要埋込み長さを示す。</p> <p>仕口の場合</p> <p>200 程度</p> <p>土台</p> <p>男木</p> <p>女木</p> <p>アンカーボルト</p> <p>（見下げ）</p> <p>土台切れの場合（柱勝ち収まり等）</p> <p>アンカーボルト</p> <p>土台</p> <p>200 程度</p> <p>（見下げ）</p> <p>通り芯、又は柱芯</p> <p>-3.その他；</p> <p>上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。</p> <p>( 2 ) 引張金物専用アンカーボルト</p> <p>a).引張金物専用アンカーボルトの径</p> <p>引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。</p> <p>b).引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ</p> <p>引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、J型アンカーボルトを用いる場合は、360 mm 以上とする。その他のアンカーボルトを用いる場合は、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。</p>	<p>( 1 ) 釘接合</p> <p>・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。</p> <p>・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。</p> <p>・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んだうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。</p> <p>・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。</p> <p>・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>( 2 ) 木質構造用ビス接合</p> <p>・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。</p> <p>・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；</p> <p>比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %</p> <p>上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %</p> <p>※ 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2／3程度とする。</p> <p>( 3 ) ボルト接合</p> <p>・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。</p> <p>・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。</p> <p>・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。</p> <p>・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。</p> <p>( 4 ) ラグスクリュー接合</p> <p>・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。</p> <p>・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。</p> <p>・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。；</p> <p>比重が 0.5 以上の樹種・・・呼び径の 60～75 %</p> <p>上記以外の樹種・・・呼び径の 40～70 %</p> <p>※ 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。</p> <p>・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。</p> <p>・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。</p> <p>・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。</p> <p>・呼び径 M12以下；+1.0mm</p> <p>・呼び径 M16以上；+1.5mm</p> <p>( 5 ) ドリフトピン接合</p> <p>・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。</p> <p>・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>( 6 ) 木栓接合</p> <p>・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。</p> <p>・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。</p> <p>( 7 ) グルードインロッド接合</p> <p>・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を入力・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。</p> <p>・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。</p> <p>・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。</p>

特 記 \_\_\_\_\_  
事 項 \_\_\_\_\_



山梨建築設計監理事業協同組合

承認 \_\_\_\_\_ 代表設計者 \_\_\_\_\_ 設計担当者 \_\_\_\_\_ 縮 尺 \_\_\_\_\_

一級建築士  
第145710号  
佐野 正秀

一級建築士  
第300579号  
丹沢 浩己

設計年月日 \_\_\_\_\_

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事

工事名称 南トイイレ棟

図面名称 木造軸組接合部標準図 (1)

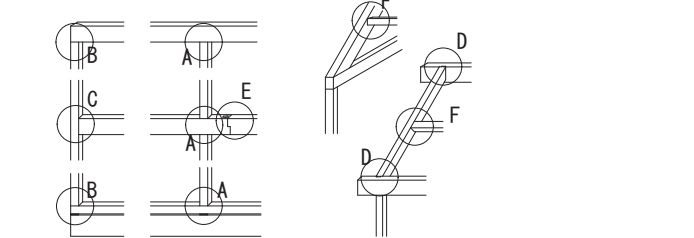
南ト A-07  
No.



木造軸組接合部標準図(2)

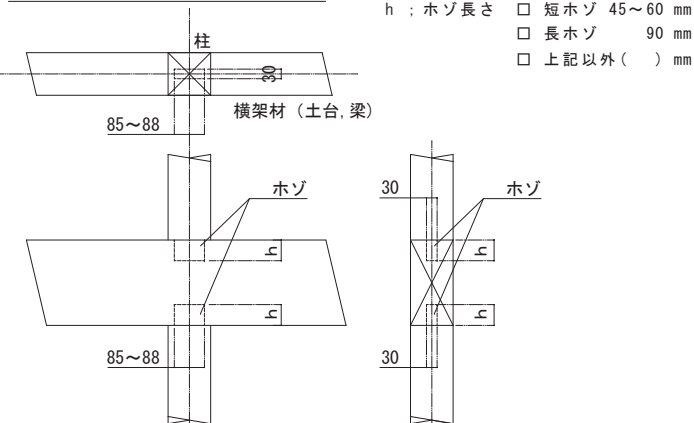
5. 軸組標準接合部

(1) 共通事項及びキーフレーム

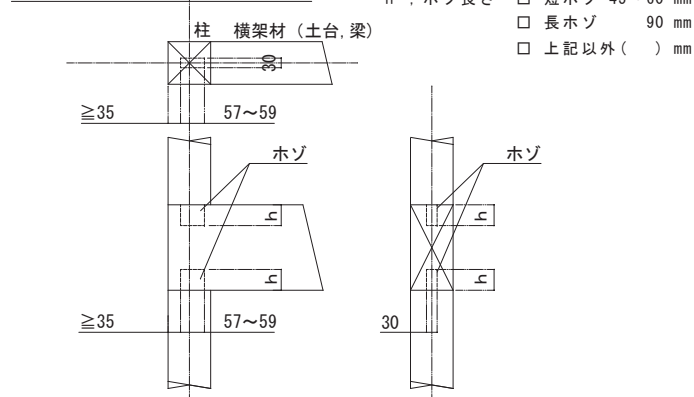


(2) 標準的な継手仕口 (mm)

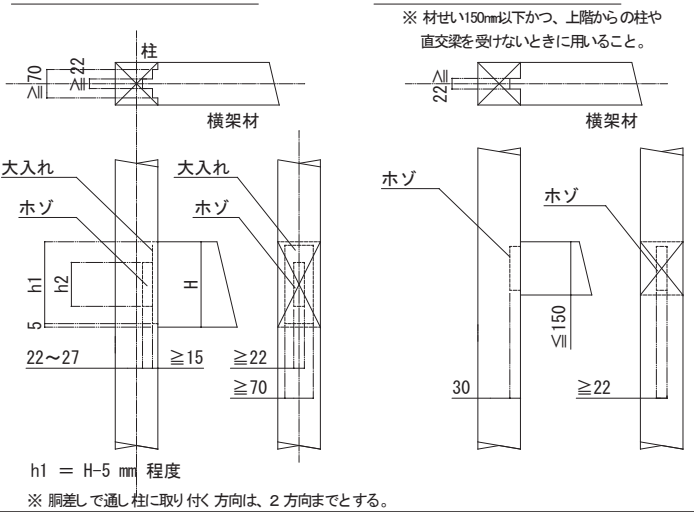
A 柱-横架材仕口：一般部（土台共通）



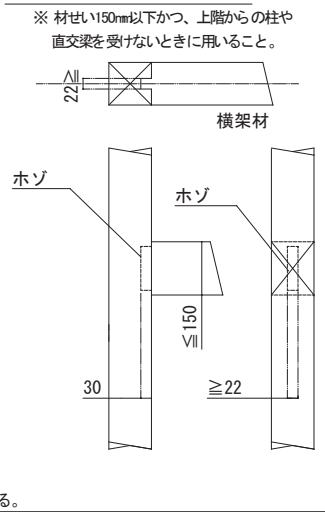
B 柱-横架材仕口：出隅部（土台共通）



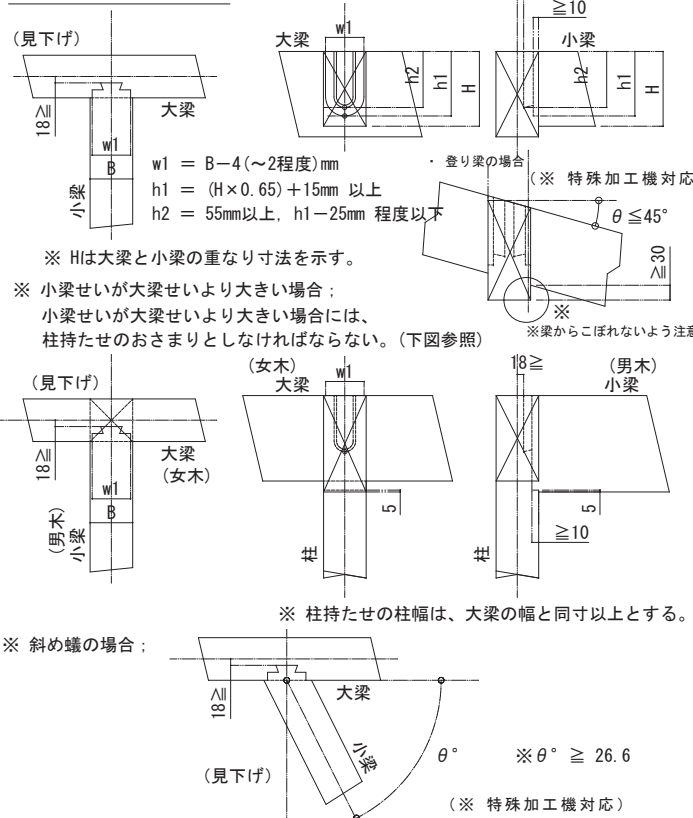
C 通柱-横架材仕口：胴差し



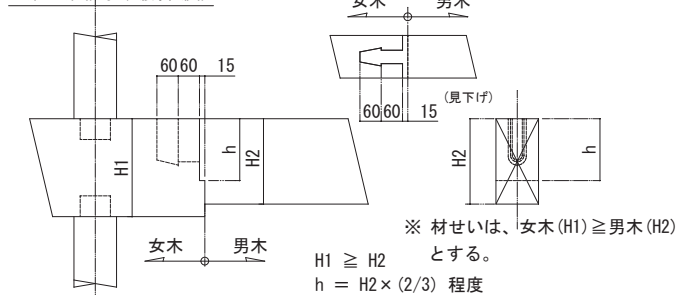
C 通柱-横架材仕口：析差し



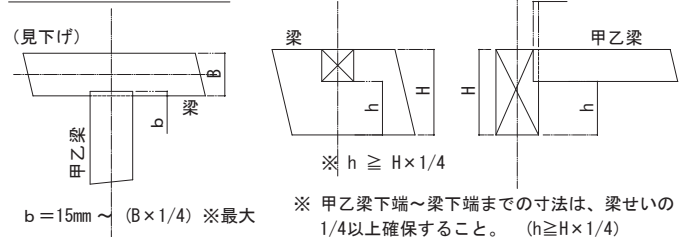
D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



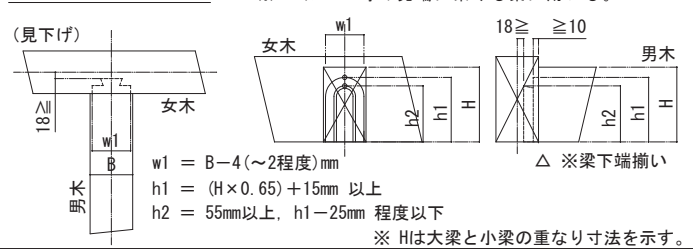
E 梁-梁継手：腰掛鎖継



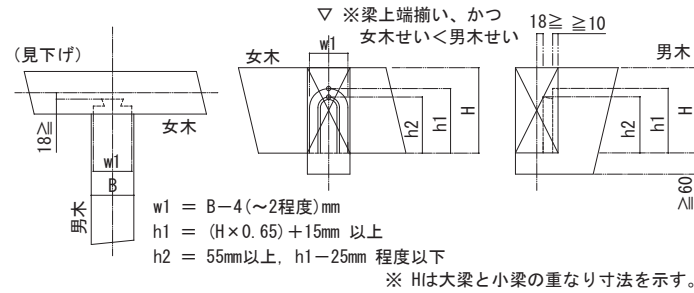
F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



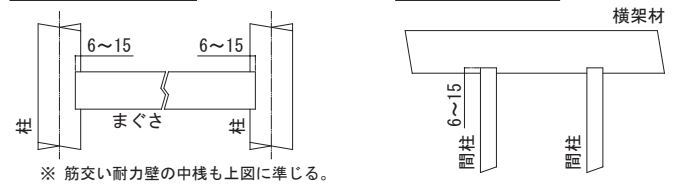
G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



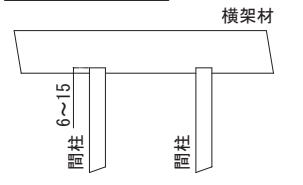
H 梁-梁仕口：茶臼仕口



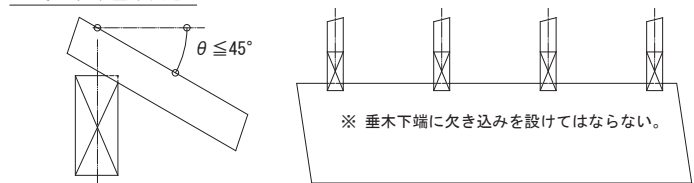
I その他：まぐさ欠き



J その他：間柱欠き



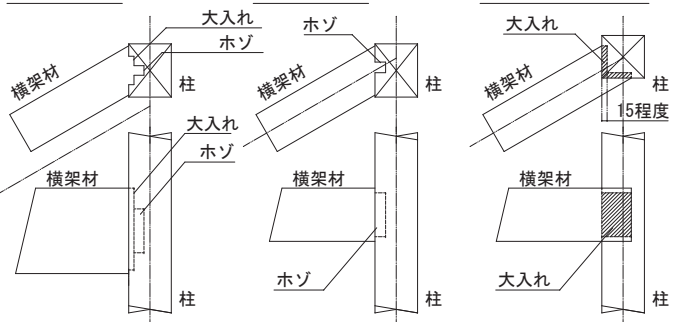
K その他：垂木欠き



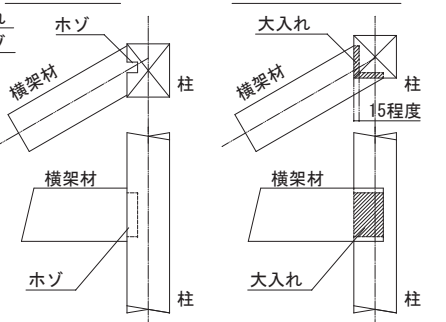
(3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応が可能な継手仕口の一例を、本節に示す。  
特殊加工機を用いた継手仕口は、加工工場が限定されるので注意すること。  
特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

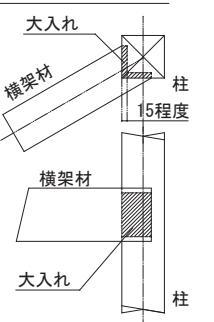
L 斜め胴差し



M 斜め析差し



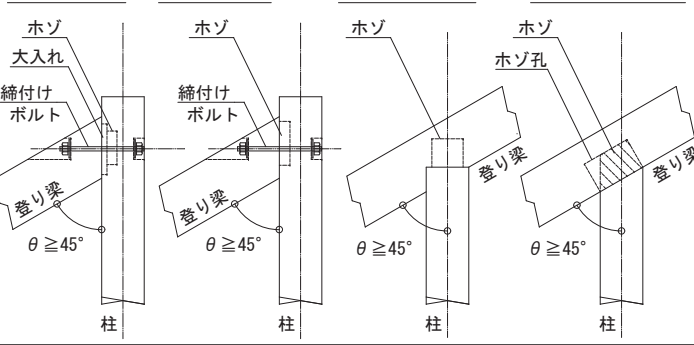
N 斜め柱差し大入れ



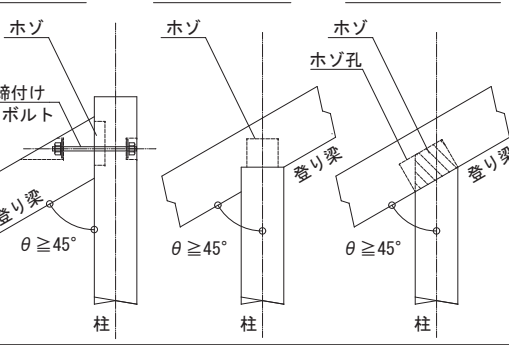
※ L, Mともに、梁幅が柱からこぼれない範囲で用い、柱断面を調整して使用すること。

※ L, Mともに、柱梁の緊結には引きボルトの代わりにコーナー金物を横使いとする。  
使用するコーナー金物は、羽子板同等以上の引張耐力を有するものとする。

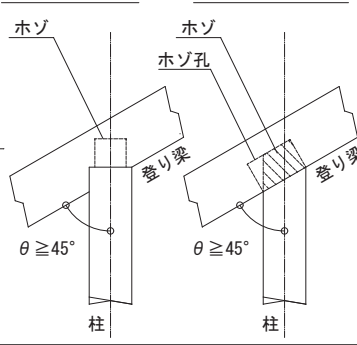
O 登り胴差し



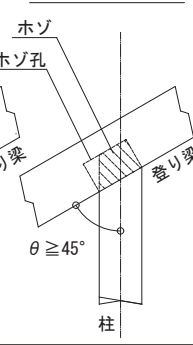
P 登り析差し



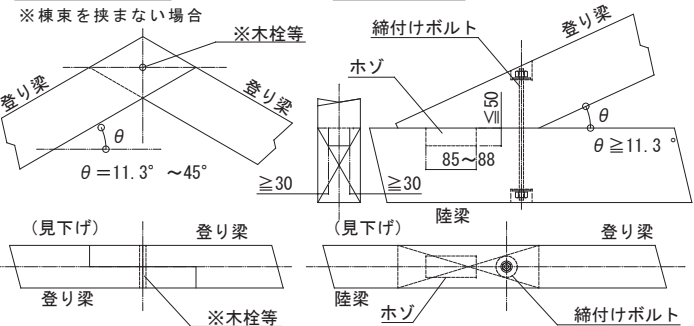
Q 登り斜めホゾ



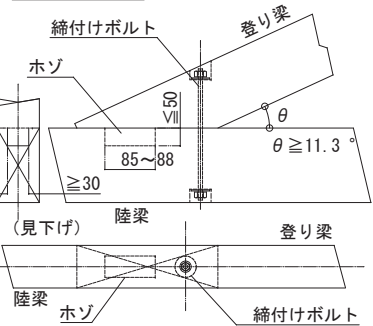
R 登り座付きホゾ



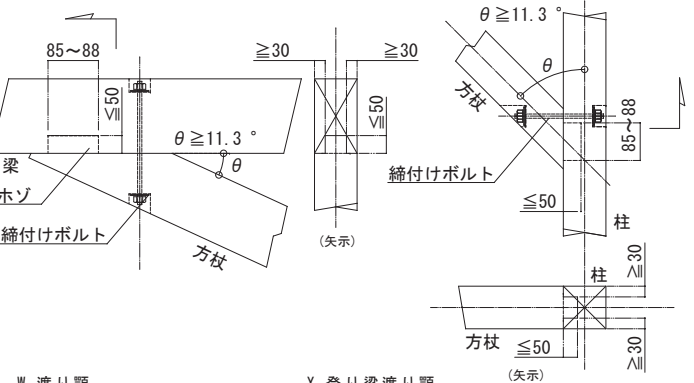
S 登り梁合掌部



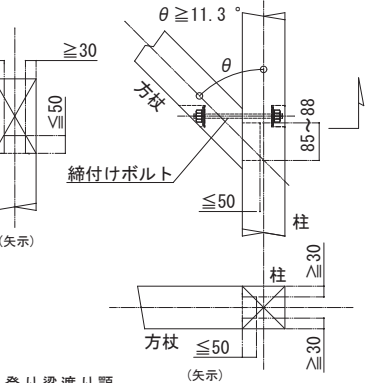
T 登り梁合掌尻



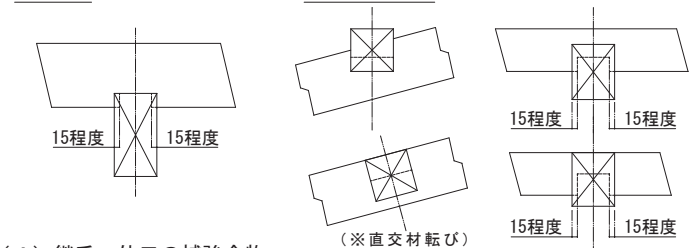
U 方杖-梁仕口



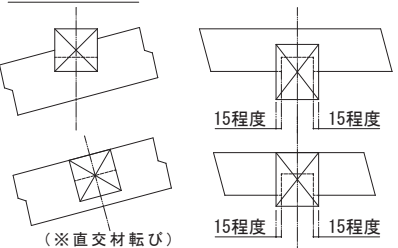
V 方杖-柱仕口



W 渡り頭

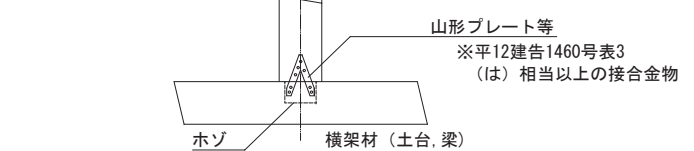


X 登り梁渡り頭

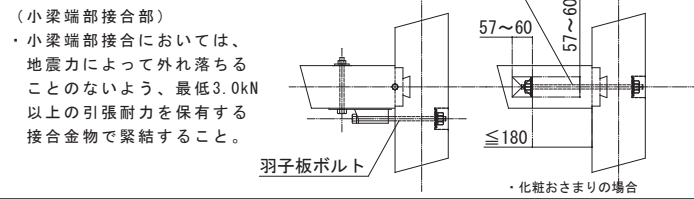


(4) 継手・仕口の補強金物

- ・耐力壁枠柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引拔力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を保有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。



- (梁-梁 接合部)
- ・水平構面の外周部横架材接合部においては、床水平構面による引拔力を計算し、引抜力以上の耐力を保有する接合金物を使用すること。
- ・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を保有する接合金物を使用すること。(右図参照)



- (小梁端部接合部)
- ・小梁端部接合においては、地震力によって外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を保有する接合金物で緊結すること。

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 縮尺

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事  
工事名称 (南トイイレ棟)  
図面名称 木造軸組接合部標準図(2)

南ト A-08  
No.

木造軸組接合部標準図（3A）

6 A. 施行令46条に基づく45×90以上の筋かい端部納まり図

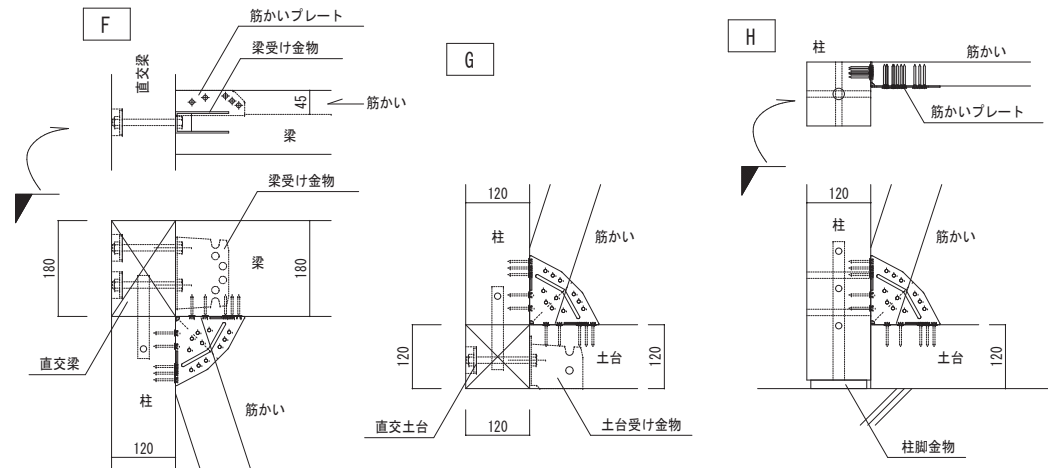
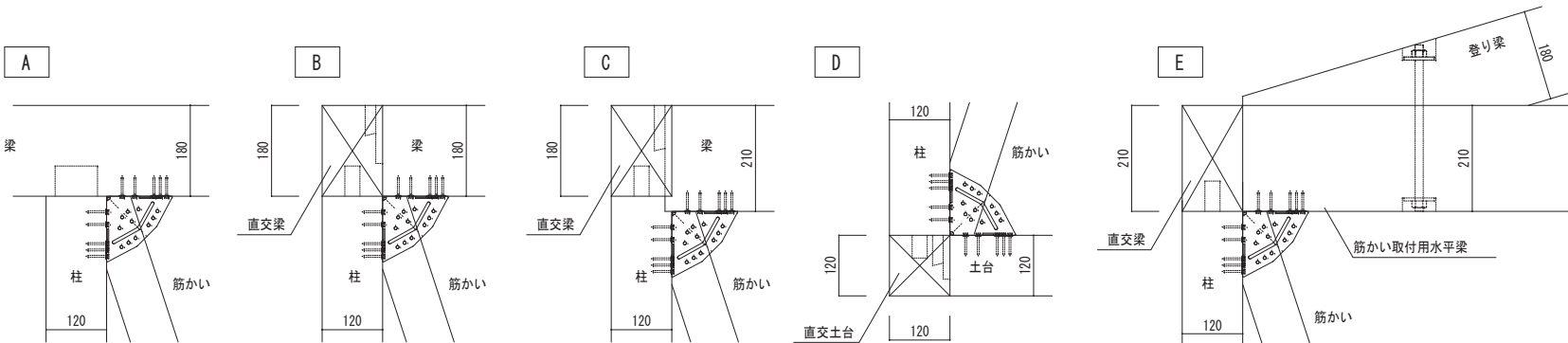
(注) (単位)mm

共通事項

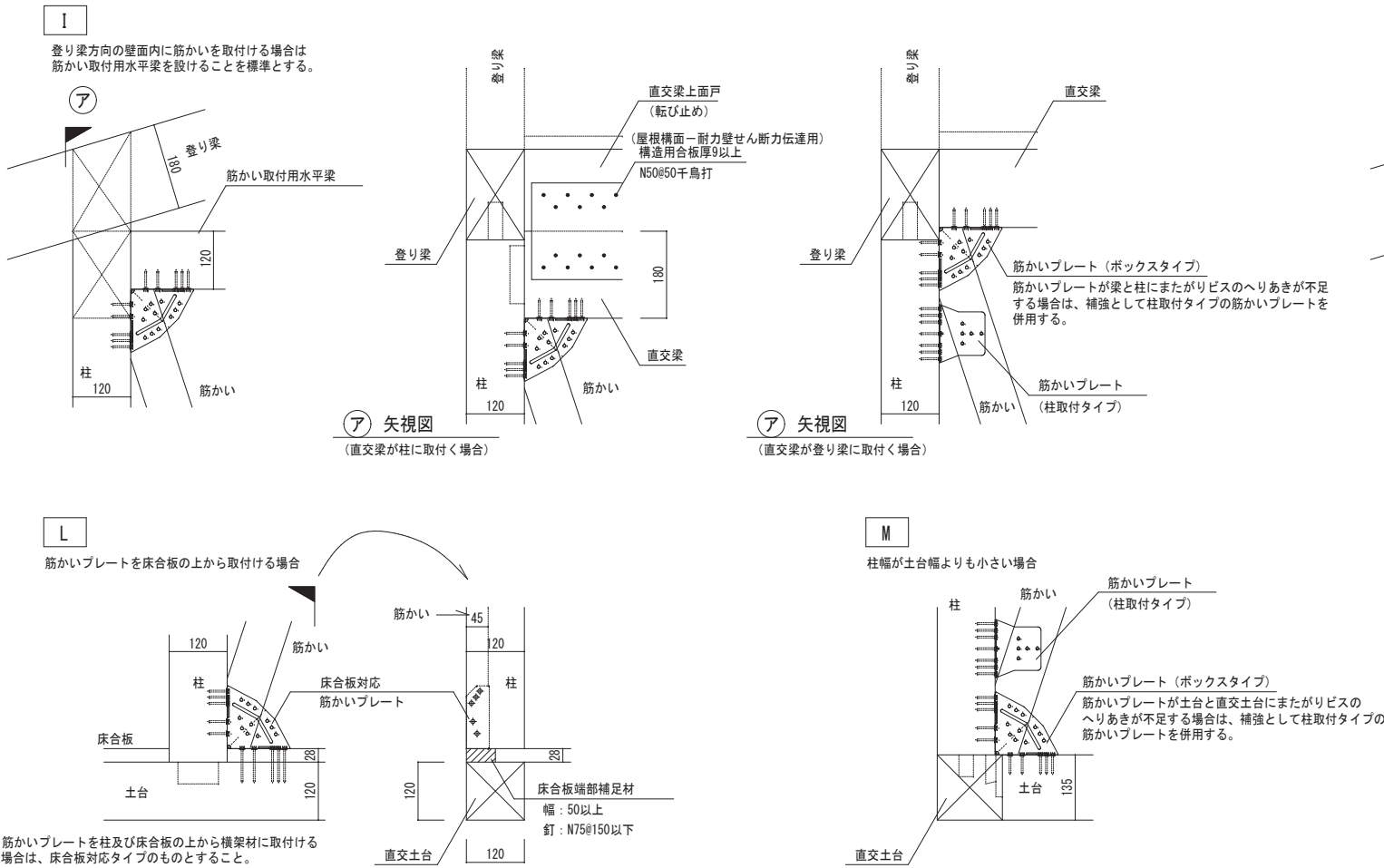
- 筋かいプレートは、柱梁ビスどめタイプを標準とする。
- 筋かいプレートを柱取付タイプのみとする場合は柱頭のホゾに作用するせん断力に対する検討を行うこと。ただし、端部及び出隅部の柱が寄せホゾとなる場合は柱梁ビスどめタイプを使用すること。
- 筋かいプレートの取付ビスのへりあきが不足又は、金物工法の金物にビスが干渉する場合は、そのビスを無効とし、所定のビス本数に満たないときは柱取付筋かいプレートを追加する等の補強をすること。
- 梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図（2）を参照すること。

標準納まり図（在来工法）

標準納まり図（金物工法）



標準以外の納まり図



平成30年4月5日改訂 一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 縮尺  
一級建築士 一級建築士  
第145710号 第300579号  
佐野 正秀 丹沢 浩己  
設計年月日

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事  
工事名称 (南トイレ棟)  
図面名称 木造軸組接合部標準図(3)

南ト A-09  
No.

木造軸組接合部標準図(4)

6 B. 昭56建告第1100号第1第一号に基づく面材張り大壁耐力壁納まり図

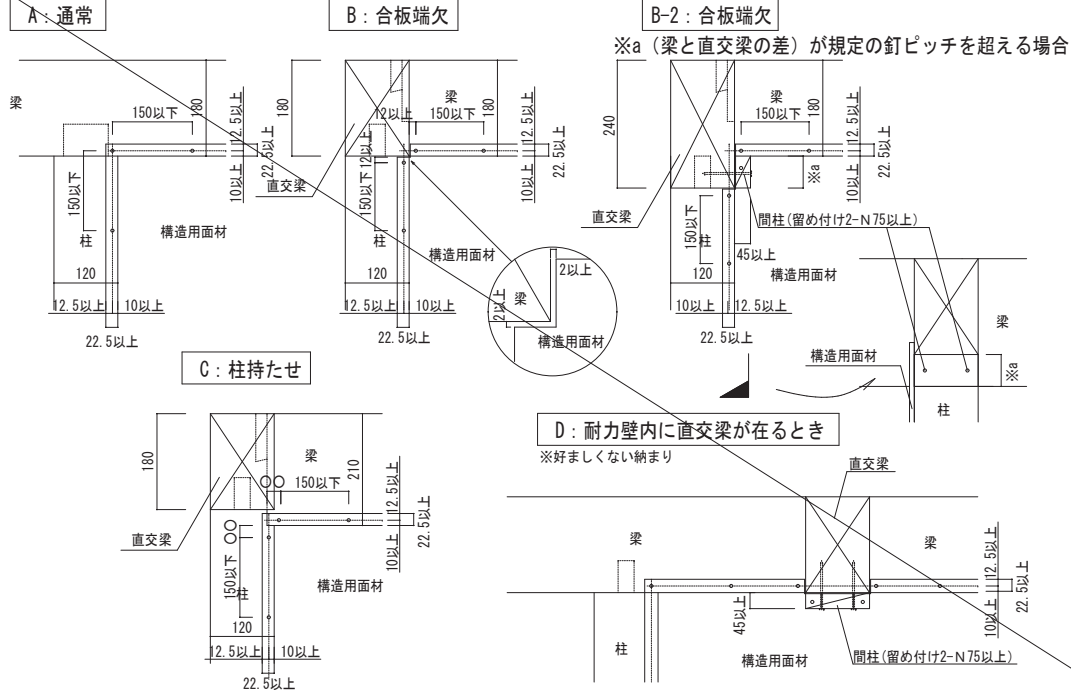
(注) (単位)mm

＜共通事項＞

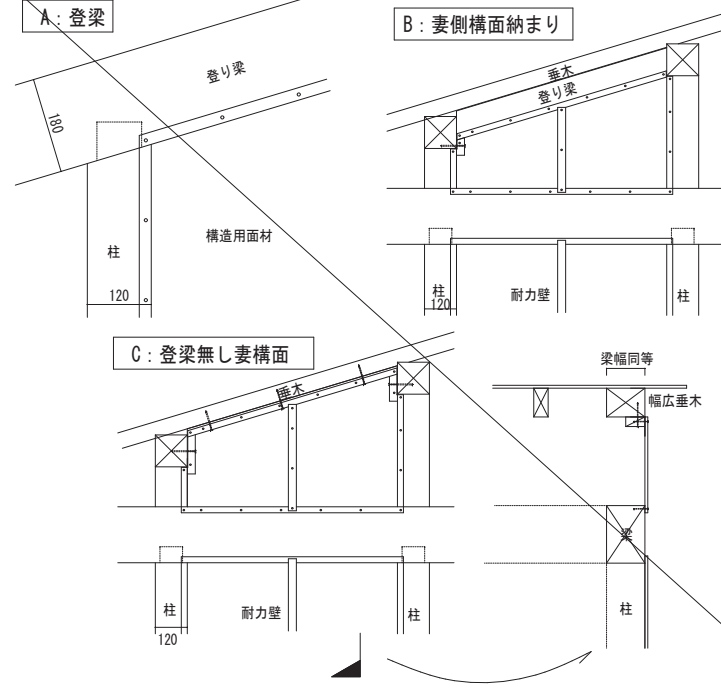
- ・面材は、9mm以上を標準とする。
- ・梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。
- ・間柱・受材・筋違等構造に関わる羽柄材の品質については、未乾燥材および皮付き材は不可とし、四面ピン角、ねじれ、反りの無い物とすることを原則とする。
- ・釘ピッチの基準は使用釘本数を満たしている必要がある。記載のピッチは「辺の長さ÷ピッチ+1本」と読むこととする。

- ・開口直下の梁への間柱欠きは、原則行わない事。
- ・間柱(受材)を梁等へ留め付ける場合、釘及び木質構造用ビスの長さは、受け材厚さの2.5倍以上を標準とする。  
受け材厚30mmの場合は、N75、CN75 以上  
受け材厚45mm(耐力壁：水平力のみを負担する場合)は、N90、CN90(真壁の受け材留め付けと合わせる)以上  
受け材厚45mm(水平構面：鉛直力と水平力を負担する場合)は、N115、木質構造用ビスL110 以上

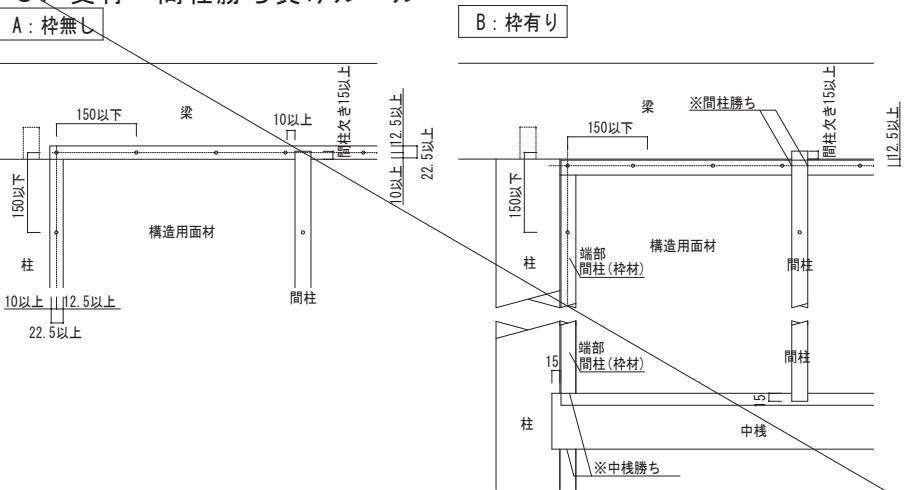
1. 直交梁との取り合い



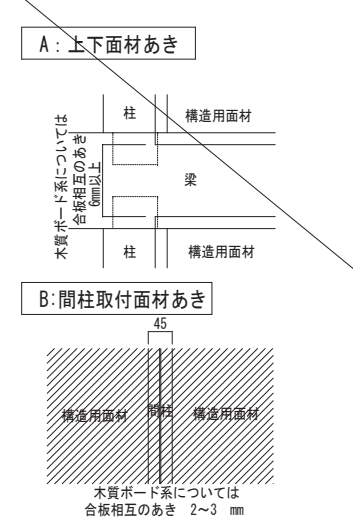
2. 勾配屋根の納まり



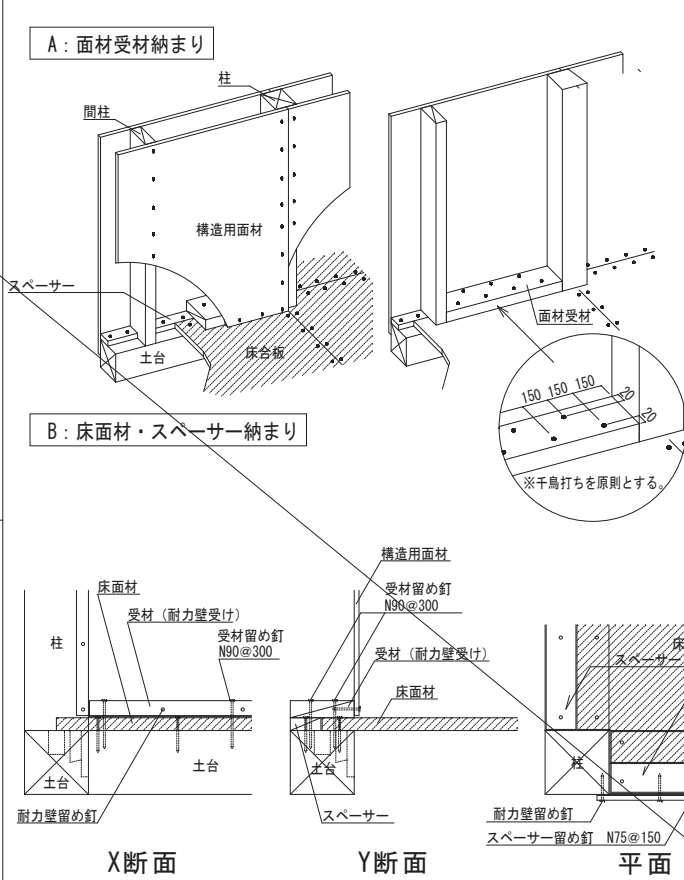
3. 受材・間柱勝ち負けルール



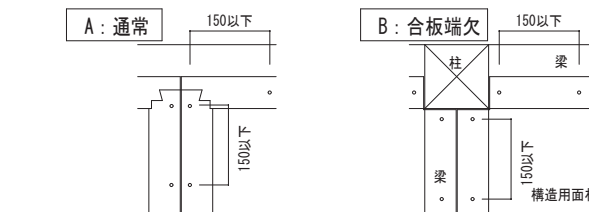
4. 面材相互あきのルール



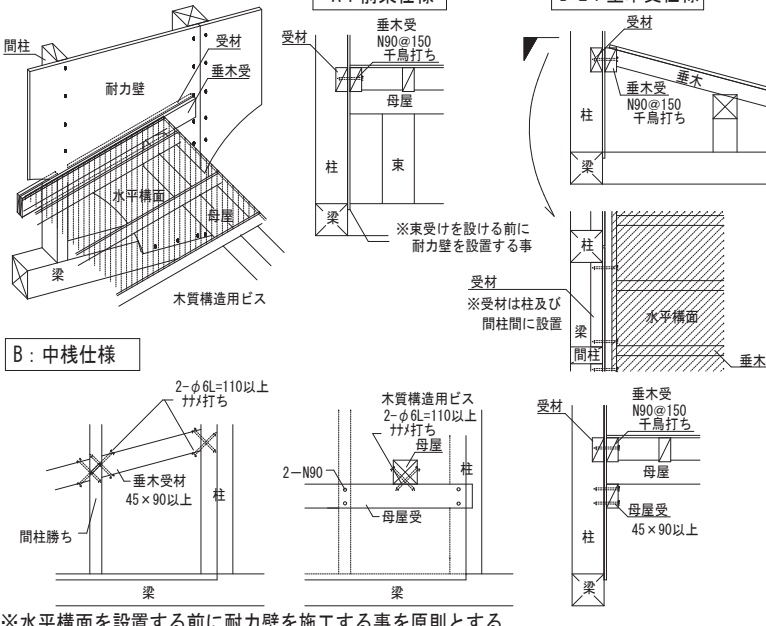
6. 床面材との取り合い



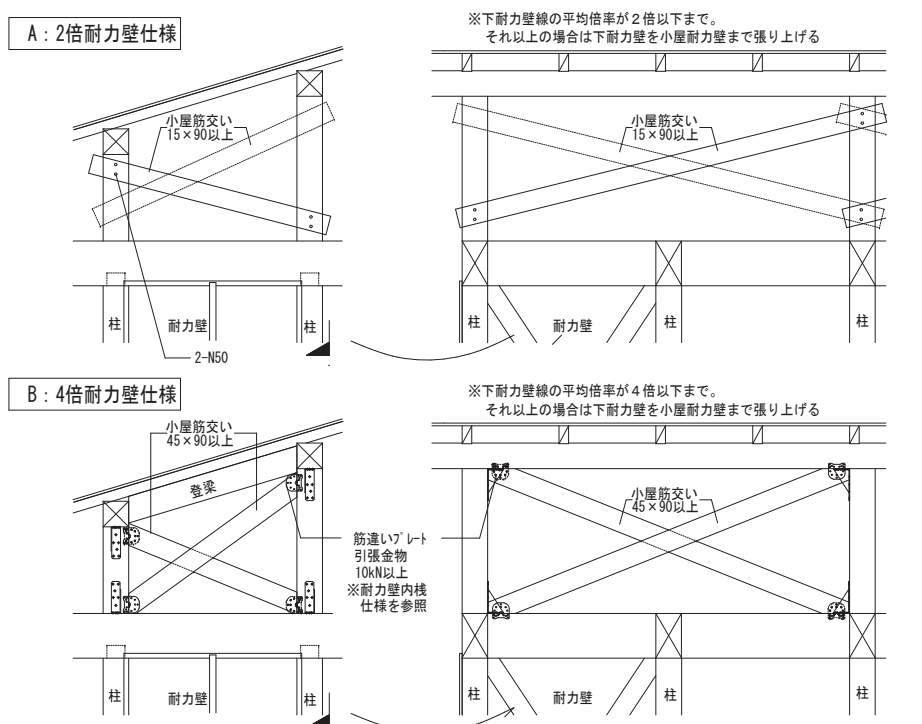
7. 水平構面



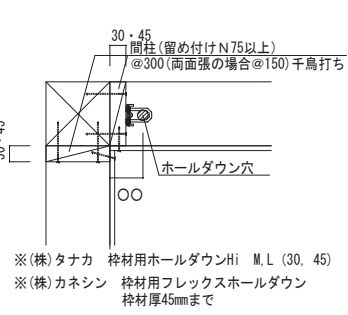
8. 下野部分の納まり



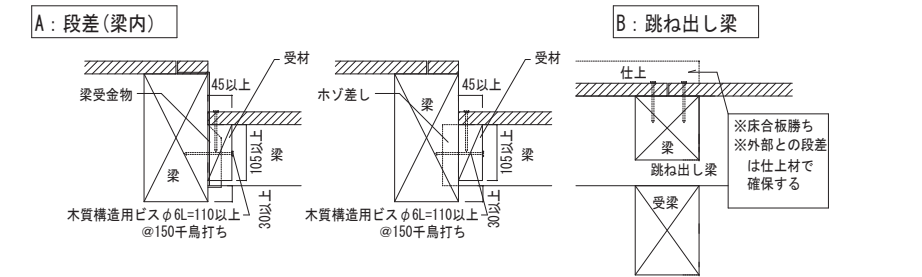
9. 小屋筋交い



5. 入隅時納めおよび  
枠材用ホールダウン納め



10. 段差



特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 縮尺

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事  
工事名称 (南トイレ棟)  
図面名称 木造軸組接合部標準図(4)

南ト A-10  
No.



本仕様書及び標準図は、PWA標準図WG及び品質管理WGが作成したものです。内容を自由に修正して使用することができます。使用上の責任は全て使用者にあり、PWAはいかなる責務も負いません。お気付きの点や改良案等の御意見は、contact@precut.jp までお願いします。

木造軸組接合部標準図(4)

7. 水平構面

(注) (単位)mm

7.1共通事項

- 各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- 木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- 指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

7.2水平構面の仕様

(1)木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

(a)日の字釘打ち  
短期許容せん断耐力  
7.84kN/m

(b)川の字釘打ち  
短期許容せん断耐力  
3.53kN/m

※合板は、横架材に対し直交方向に長辺を配置

1)各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板t=24mm~30mm横架材に直貼
- ② 甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上・梁及び甲乙梁の間隔1000mm以下
- 2)各部仕口形状及び性能
- ④ 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ⑤ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ⑥ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- ⑦ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ N75 1本斜め打ち
- 3)各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@150mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- ⑧ 構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける

注意事項：構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする  
2mmを超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること  
川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、掘り等々に注意する事

告示耐力壁-床納まり  
大壁合板耐力壁-床構面  
(壁勝)

真壁合板耐力壁-床構面  
(壁勝)

筋造耐力壁-床構面  
(筋通勝)

認定仕様例示)日合連(JPMA)仕様耐力壁-床勝納まり  
大壁合板耐力壁-床勝  
認定番号:FRM-0296

真壁合板耐力壁-床勝  
認定番号:FRM-0298

筋造金物による床勝納まり  
筋造耐力壁-床構面  
(床勝:大臣認定仕様)  
会社名( )  
認定番号( )

(2)木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

(a)登梁-厚合板  
短期許容せん断耐力  
7.84kN/m(勾配面に対して)

(b)垂木-合板  
短期許容せん断耐力  
1.96kN/m(勾配面に対して)

ひねり金物

注意事項：ひねり金物を使用する際、軒先・棟だけでなく垂木・母屋の接点全てに使用する

転び止め

注意事項：転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木・母屋の接点全てに使用する  
N75釘4本(表2本と裏2本を千鳥配置)斜め打ち

1)各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板t=24mm~30mm横架材に直貼
- ② 登梁：幅105mm以上×せい105mm以上 間隔1000mm以下
- ③ 甲乙梁：幅45mm以上×せい45mm以上 間隔1000mm以下
- ④ 小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上(端部は平12建告1460号の筋造耐力壁の接合)

2)各部仕口形状及び性能

- ④ 各仕口部分：水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- ⑤ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ⑥ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

- ⑦ 構造用合板はN75@150mmで日の字に垂木に留め付ける

注意事項：構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、2mmを限度とする

1)各部材料および寸法

- ① 面材：構造用合板t=9mm~15mm(横置)
- ② 垂木：幅45mm以上×せい45mm~90mm@500mm以下
- ③ 小屋耐力壁：15mm以上×90mm以上(端部は平12建告1460号の筋造耐力壁の接合)
- ④ 転び止め：45mm×60mm程度

2)各部仕口形状及び性能

- ④ 母屋ピッチ：1000mm以下
- ⑤ 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁(くも筋違い)を設ける事

3)各部への釘打及びビス止め

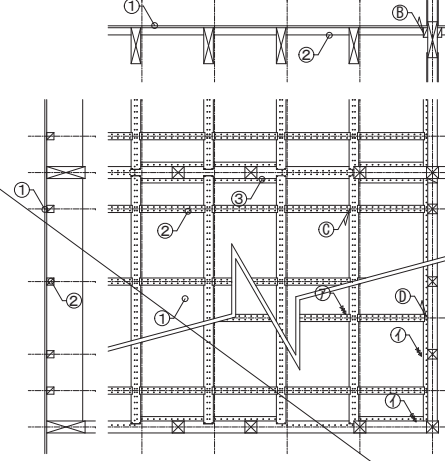
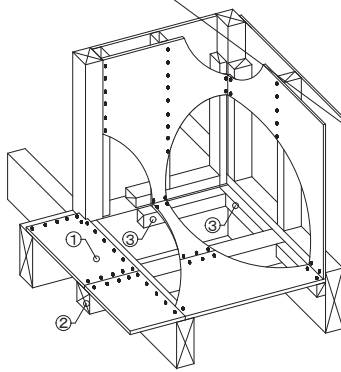
- ⑦ 構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
- ⑧ 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- ⑨ 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

a:面材上下端まで10mm  
b:面材左右端まで10mm  
c:軸材端まで(最小値)12.5mm

7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1)2階床水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力  
14.1kN/m



1)各部材料

- ① 面材：構造用合板t=24mm又は28mm横架材に直張り
- ② 甲乙梁：90mm×90mmの正角材又は幅75mm×成120mm製材を平使い
- ③ 大梁側面に取り付ける床受け材：幅55mm~75mm×成120mmの製材
- 2)各部仕口形状及び性能
- ④ 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- ⑤ 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- ⑥ 甲乙梁端部は小梁に対して深さ15mm程度の大入れ
- ⑦ 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ15mm×成60mm切り欠き甲乙梁は成60mm分大入れし床受け材勝ちの納まりとする
- 3)各部への釘打及びビス止め
- ⑦ 構造用合板はN75@75mm日の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受け材に留め付ける
- ⑧ 大梁側面へ取り付ける床受け材は木質構造用ビスφ6、L130~150を150mmピッチの二列打ちとして留め付ける

(2)屋根水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力  
13.5kN/m(合板釘ピッチ75mm)  
19.1kN/m(合板釘ピッチ50mm)

面材  
側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

側面図

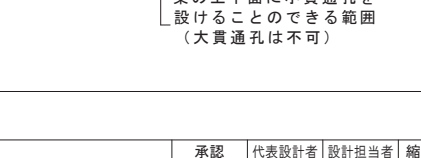
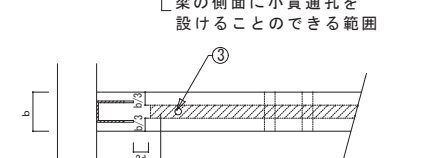
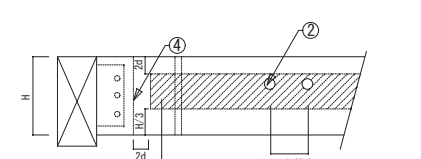
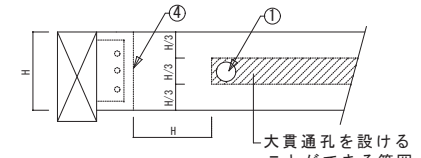
側面図

側面図

8. 貫通孔

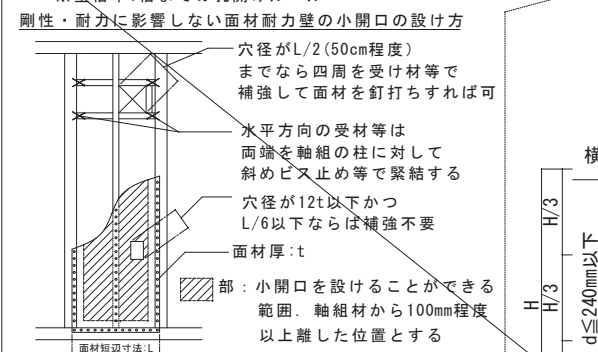
8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- ① 大貫通孔：d≤H/4かつ150mm
- ② 小貫通孔：d≤30mm(隣り合う孔は3d以上離す)
- ③ 縦小貫通孔：d≤b/6かつ30mm
- ④ 接合金物用切り欠きライン



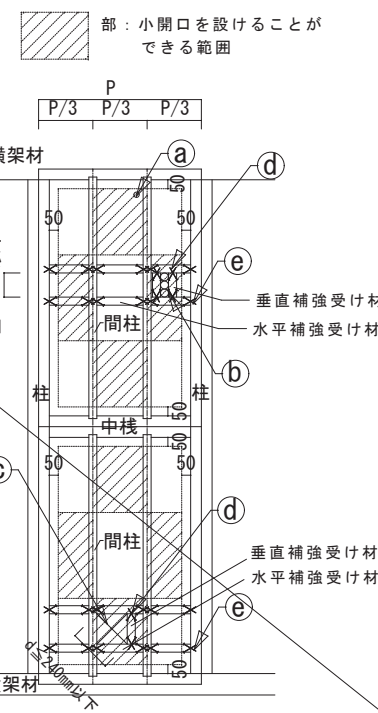
8.2 耐力壁貫通孔

(1)小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)  
※壁倍率7倍までの孔開けルール  
剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



(2)高耐力仕様合板貼耐力壁(JISA3301標準仕様)  
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール(JISA3301仕様)

- a)貫通孔基準
- ① 小貫通孔(d≤30mm)1区画につき1か所までなら補強不要
- ② 小貫通孔×3(外接円の径d≤240mm)四周を補強受材で補強  
面材1枚につき1か所のみ可
- ③ 大貫通孔(d≤240mm)四周を補強受材で補強  
面材1枚につき1か所のみ可
- b)釘打ち及び断面
- ④ 合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち  
補強受材は間柱と寸法以上の断面
- ⑤ 補強受け材の留め付けは斜めビス2本止め



令和2年 2月17日改訂 一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 縮尺  
一級建築士 一級建築士  
第145710号 第300579号  
佐野 正秀 丹沢 浩己  
設計年月日

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事  
工事名称 (南トイレ棟)  
図面名称 木造軸組接合部標準図(5)

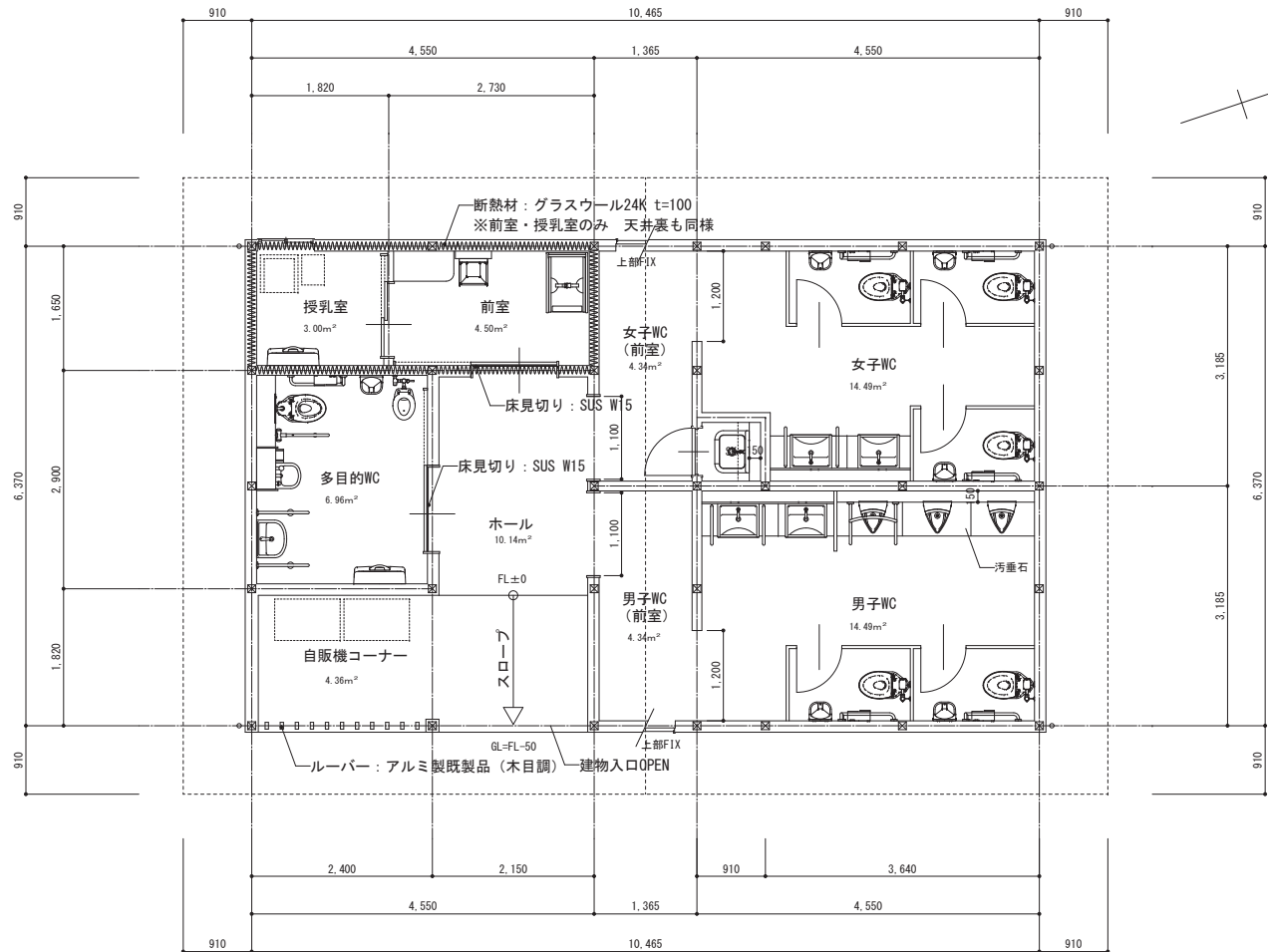
南ト A-11  
No.

外部仕上表

部位	仕上	部位	仕上
南一トイレ			
屋根	野地板:高圧木毛板t=25、アスファルトルーフィング940下地、		
	カラーガルバリウム鋼板t=0.4縦葺仕上、雪止めアングル：ＳＵＳ製塗装品（専用金具）		
樋・ドレイン	軒樋（落ち葉除け一体型）/カラーガルバリウム鋼板t=0.5、豎樋/塩ビ製カラーφ60		
外壁	窯業系サイディングt18（木目調）		
	化粧柱：既製品 W120、幕板：既製品W240		
	ルーバー：アルミ製既製品（木目調）		
軒天	硬質木毛セメント板現し、木部：浸透性木材保護材塗布		
断熱材	グラスウール24K t=100 ※前室・授乳室のみ 天井裏も同様		
開口部	アルミ引違い窓 FIXアルミサッシ（住宅用）		
	鋼製ハンガードア 見込40		
ガラス	フロートt5 フロ-tt5+A12+型板t4		
<div>&lt;凡例（塗装記号）&gt; ・E P ー 合成樹脂エマルションペイント ・E P-G ー つや有合成樹脂エマルションペイント ・S O P ー 合成樹脂調合ペイント ・O S C L ー オイルステイン・クリヤラッカー ・溶融亜鉛メッキー A種(6mm以上)・B種(3.2mm以上)・C種(1.6mm以上)</div>		<div>&lt;メーカーリスト（同等品以上）&gt; ・屋根：カラーガルバリウム鋼板t=0.4縦葺仕上：T R X 4型【元旦ビューティー工業】 ・軒樋：カラーガルバリウム鋼板t=0.5：落ち葉除け一体型軒樋【元旦ビューティー工業】 ・外壁：窯業系サイディングt=18【KMEWネオロック・光セラ18 セラトピア】</div>	

内部仕上表

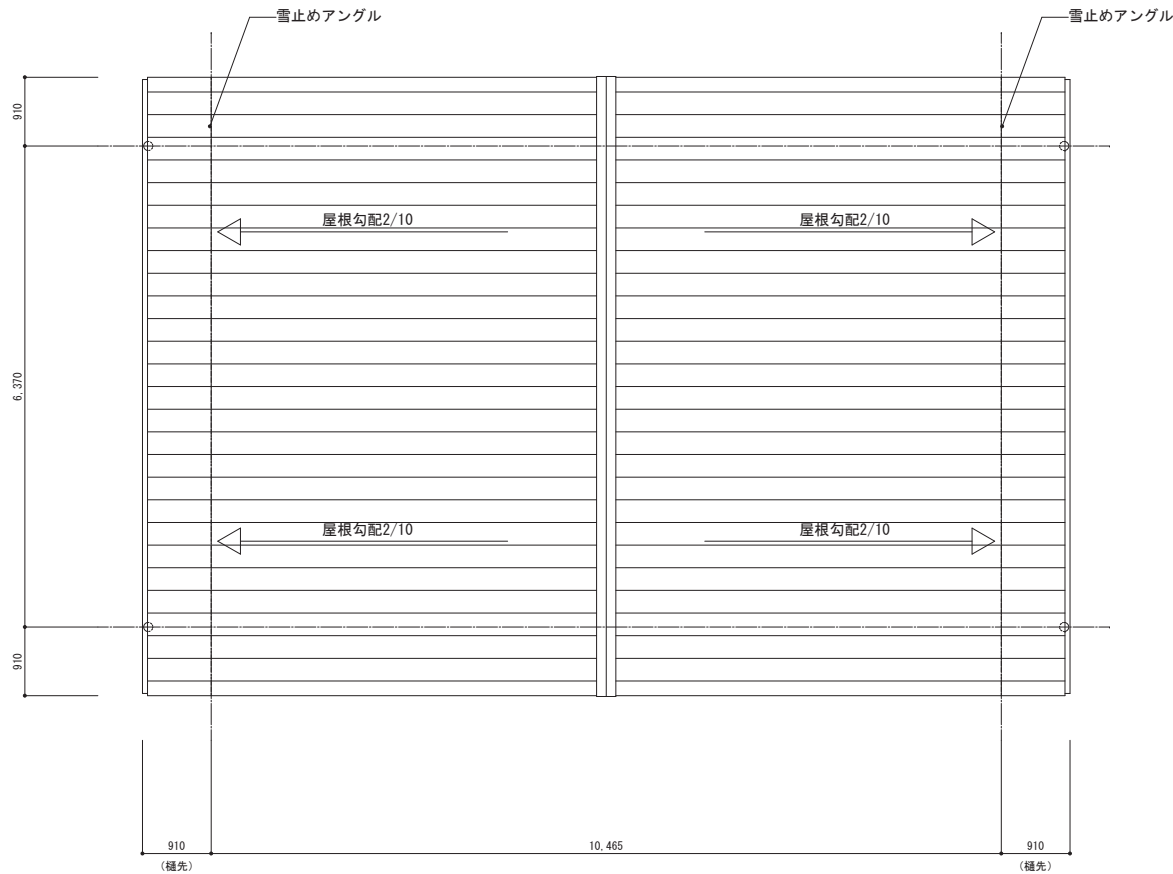
	室名	F L	床	巾木	壁		天井	廻り縁	天井高	備考
					下地	仕上				
1階	ホール・自販機コーナー	±0～-50	磁器質150角タイル貼	アルミ H=60	W	窯業系サイディングt=18	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し		—	三方枠：集成材t=25 UC
	多目的便所	±0	磁器質150角タイル貼	アルミ H=60	W	防水石膏ボード t=12.5下地、木目調化粧ケイカル板 t=6（シール目地）	L G S下地 ケイカル板 t=6 E P-G 塗	塩ビ製	2,500	多機能トイレ（機械設備工事）
	男子便所（前室含む）	±0	磁器質150角タイル貼	アルミ H=60	W	防水石膏ボード t=12.5下地、木目調化粧ケイカル板 t=6（シール目地）	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し			ライニング：L G S 1 0 0下地、甲板：メラミン化粧板 t=20 D=150 洗面カウンター：人工大理石製 L=1750 D=600、汚重石：磁器質600×900角タイル貼 耐食鏡 450×600（取付金物共）
	女子便所（前室含む）	±0	磁器質150角タイル貼	アルミ H=60	W	防水石膏ボード t=12.5下地、木目調化粧ケイカル板 t=6（シール目地）	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し			洗面カウンター：人工大理石製 L=2750 D=600 耐食鏡 450×600（取付金物共）
	S K	±0	磁器質150角タイル貼	アルミ H=60	W	防水石膏ボード t=12.5下地、化粧ケイカル板 t=6（シール目地）	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し			ライニング：L G S 1 0 0下地、甲板：ポリ舍板 t=20 D=150 S K、掃除用具用フック3ヶ所
	前室	±0	セルフレベリング下地 t=10 ビニル床シート t=2.0 床見切：SUS W=15	ソフト H=60	W	石膏ボード t=12.5 不燃ビニルクロス	L G S下地 不燃石膏ボード t=9.5 不燃ビニルクロス	塩ビ製	2,500	壁：グラスウール24K t=100充填、天井：グラスウール24K t=100敷込
	授乳室	±0	セルフレベリング下地 t=10 ビニル床シート t=2.0	ソフト H=60	W	石膏ボード t=12.5 不燃ビニルクロス	L G S下地 不燃石膏ボード t=9.5 不燃ビニルクロス	塩ビ製	2,500	壁：グラスウール24K t=100充填、天井：グラスウール24K t=100敷込



平面図

設計GL±0 (260.92)  
1FL=GL+50

延床面積 : 10.465 × 6.37 = 66.66205㎡  
建築面積 : 10.465 × 6.37 = 66.66205㎡



屋根伏図

特記事項



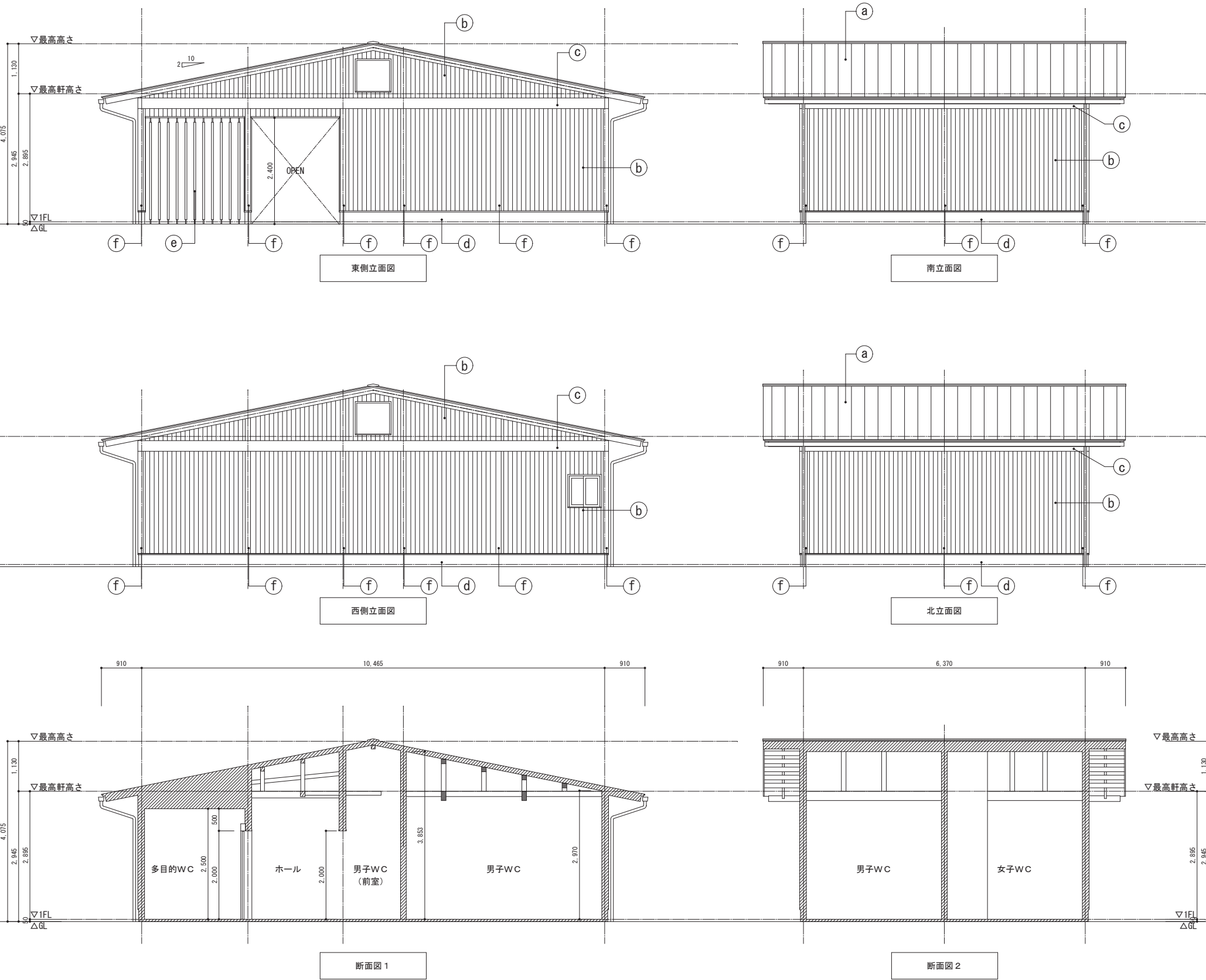
山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第300579号 丹沢 浩己	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南トイレ棟)
図面名称	平面図・屋根伏図

南ト A-13  
No.





記号	仕 上
(a)	カラーガルバリウム鋼板t=0.4縦葺仕上
(b)	窯業系サイディング t18.0 (木目調縦貼り)
(c)	幕板：既製品 W240
(d)	モルタル金ゴテ
(e)	ルーバー：アルミ製既製品 (木目調)
(f)	化粧柱：既製品 W120 D20
(g)	
(h)	
(i)	
(j)	

特 記  
事 項

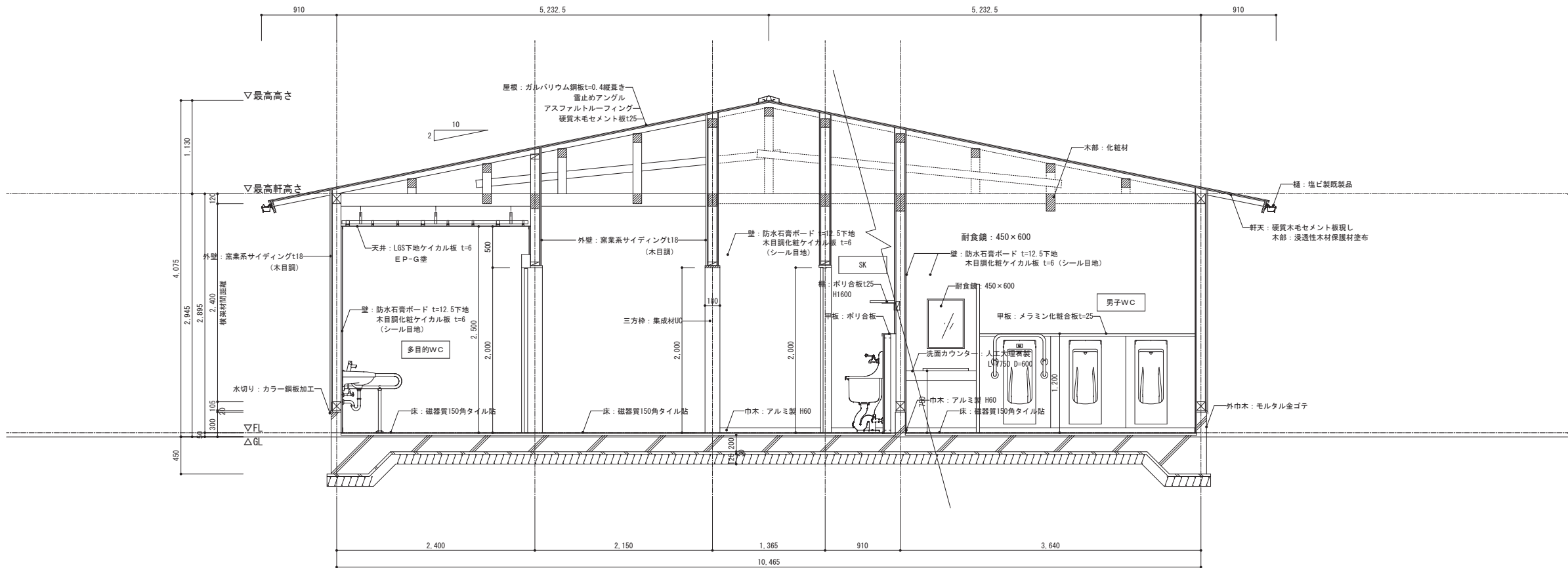


山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第300579号 丹沢 浩己	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南トイレ棟)
図面名称	立面図・断面図

南ト A-14  
No.



特記事項

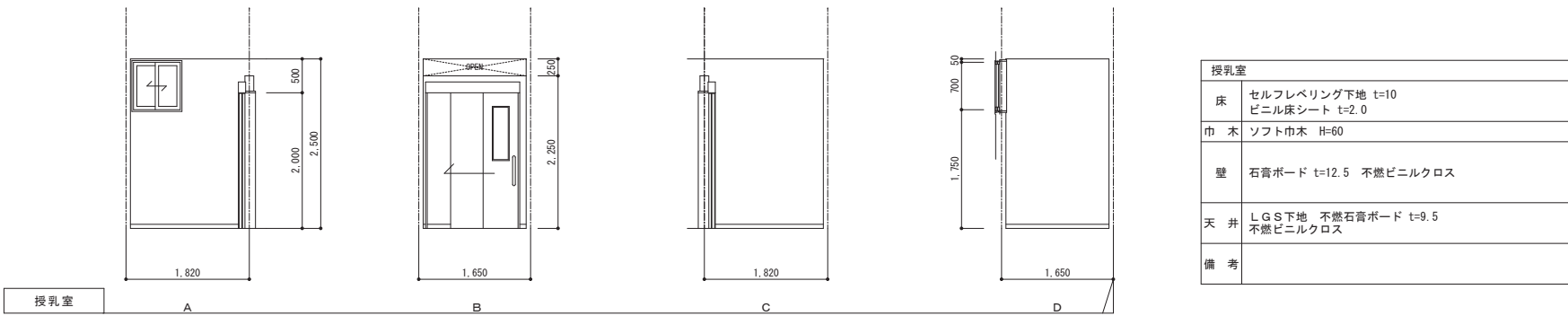
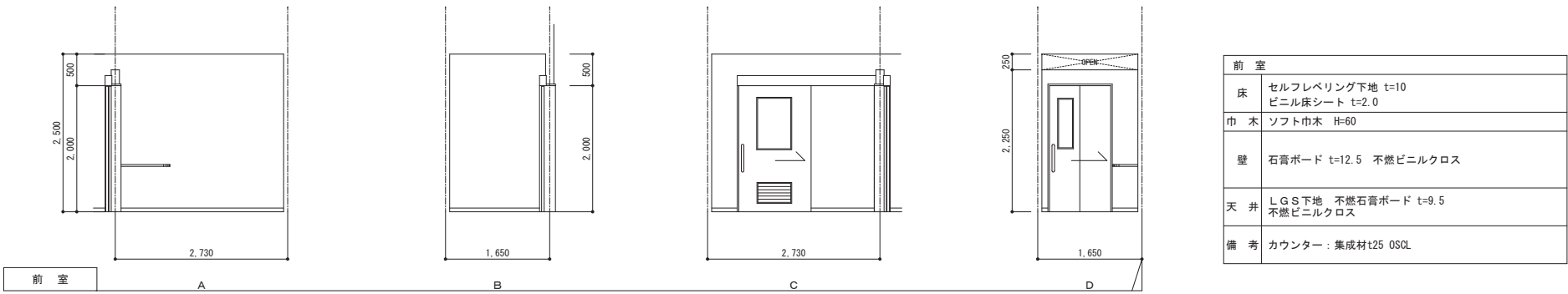
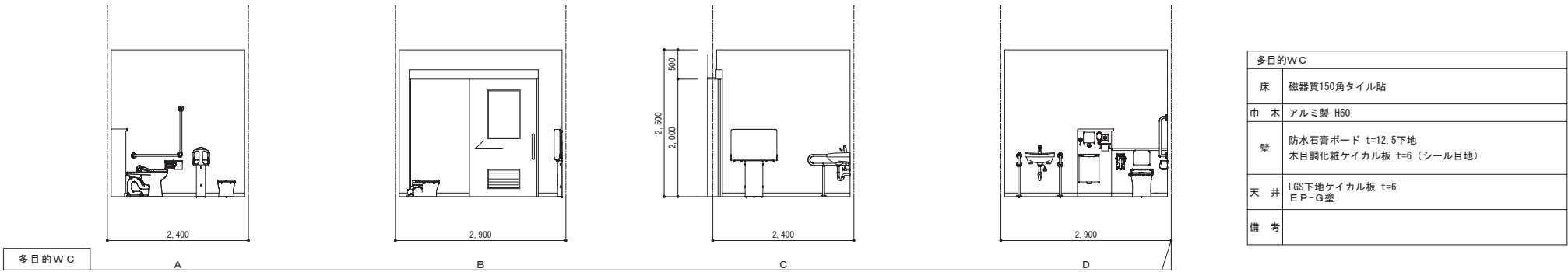
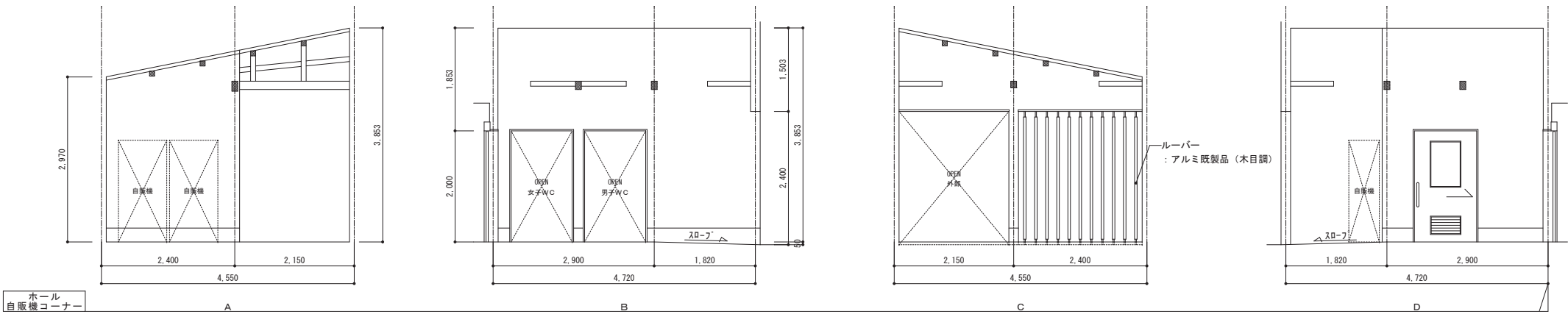


山梨建築設計監理事業協同組合

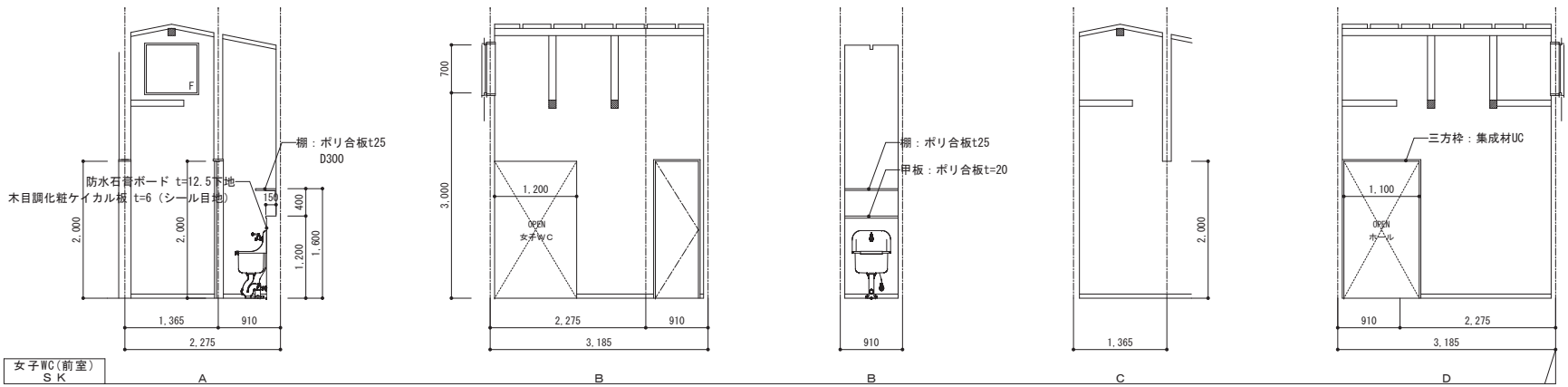
承認  
代表設計者  
設計担当者  
縮尺  
A1→1/30 A3→1/60  
設計年月日

工事名称  
図面名称  
遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事  
(南トイレ棟)  
矩計図

南ト A-15  
No.

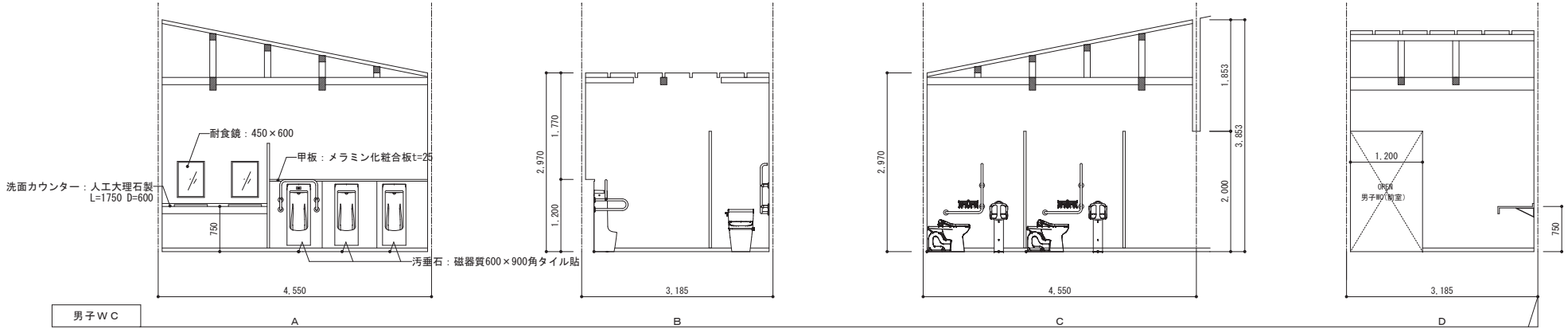




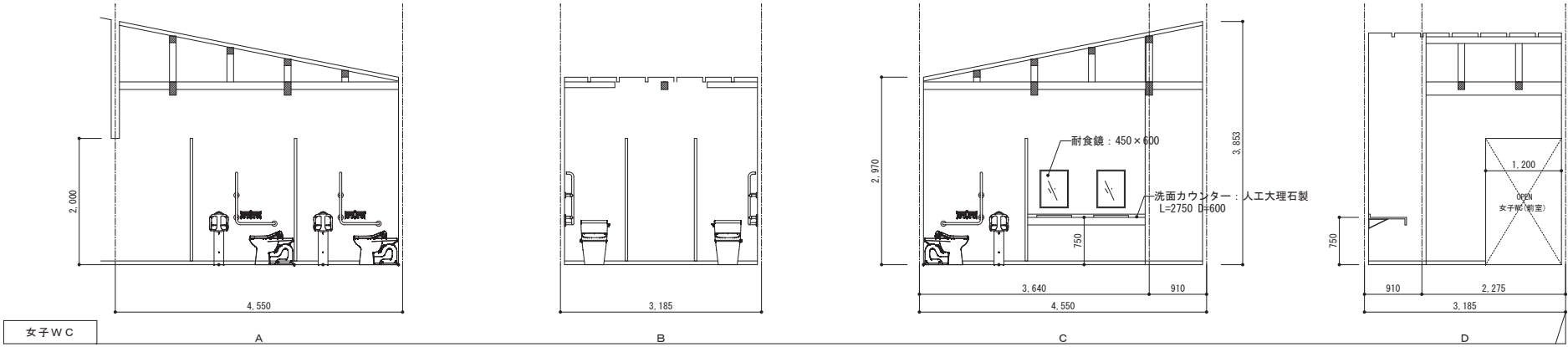


女子WC (前室)	
床	磁器質150角タイル貼
巾 木	アルミ製 H60
壁	防水石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ケイカル板 t=6 (シール目地)
天 井	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し
備 考	三方枠: 集成材t=25 UC

S K	
床	磁器質150角タイル貼
巾 木	アルミ製 H60
壁	防水石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ケイカル板 t=6 (シール目地)
天 井	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し
備 考	棚: ポリ合板t=25 甲板: ポリ合板t=20 S K、掃除用具用フック3ヶ所



男子WC	
床	磁器質150角タイル貼
巾 木	アルミ製 H60
壁	防水石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ケイカル板 t=6 (シール目地)
天 井	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し
備 考	洗面カウンター: 人工大理石製, 耐食鏡 甲板: メラミン化粧合板t=20 汚垂石: 磁器質600×900角タイル貼



女子WC	
床	磁器質150角タイル貼
巾 木	アルミ製 H60
壁	防水石膏ボード t=12.5下地 木目調化粧ケイカル板 t=6 (シール目地)
天 井	硬質木毛セメント板現し 垂木・母屋現し
備 考	洗面カウンター: 人工大理石製, 耐食鏡

特 記 \_\_\_\_\_  
事 項 \_\_\_\_\_

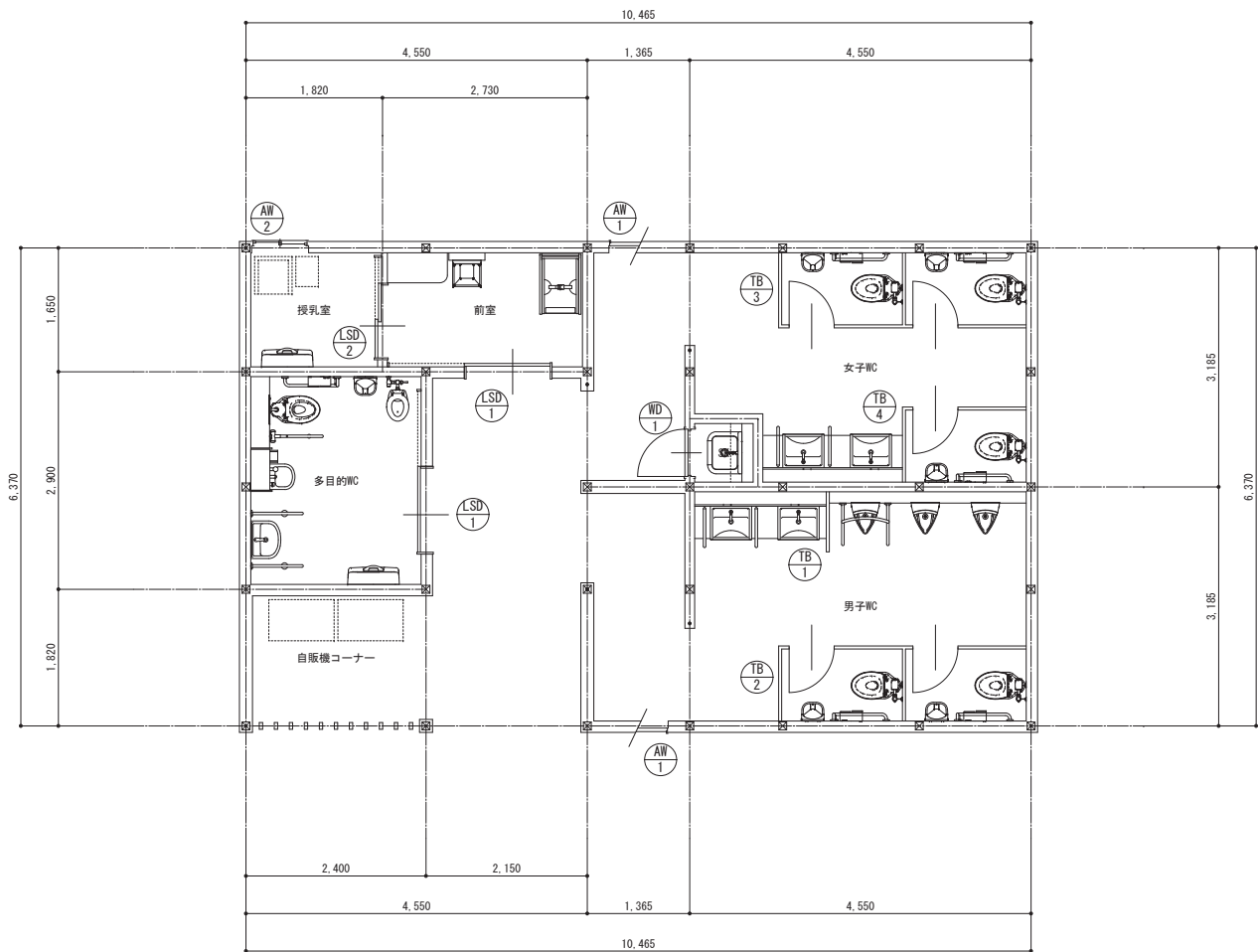


山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第300579号 丹沢 浩己	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南トイレ棟)
図面名称	展開図 2

南ト A-17  
No.

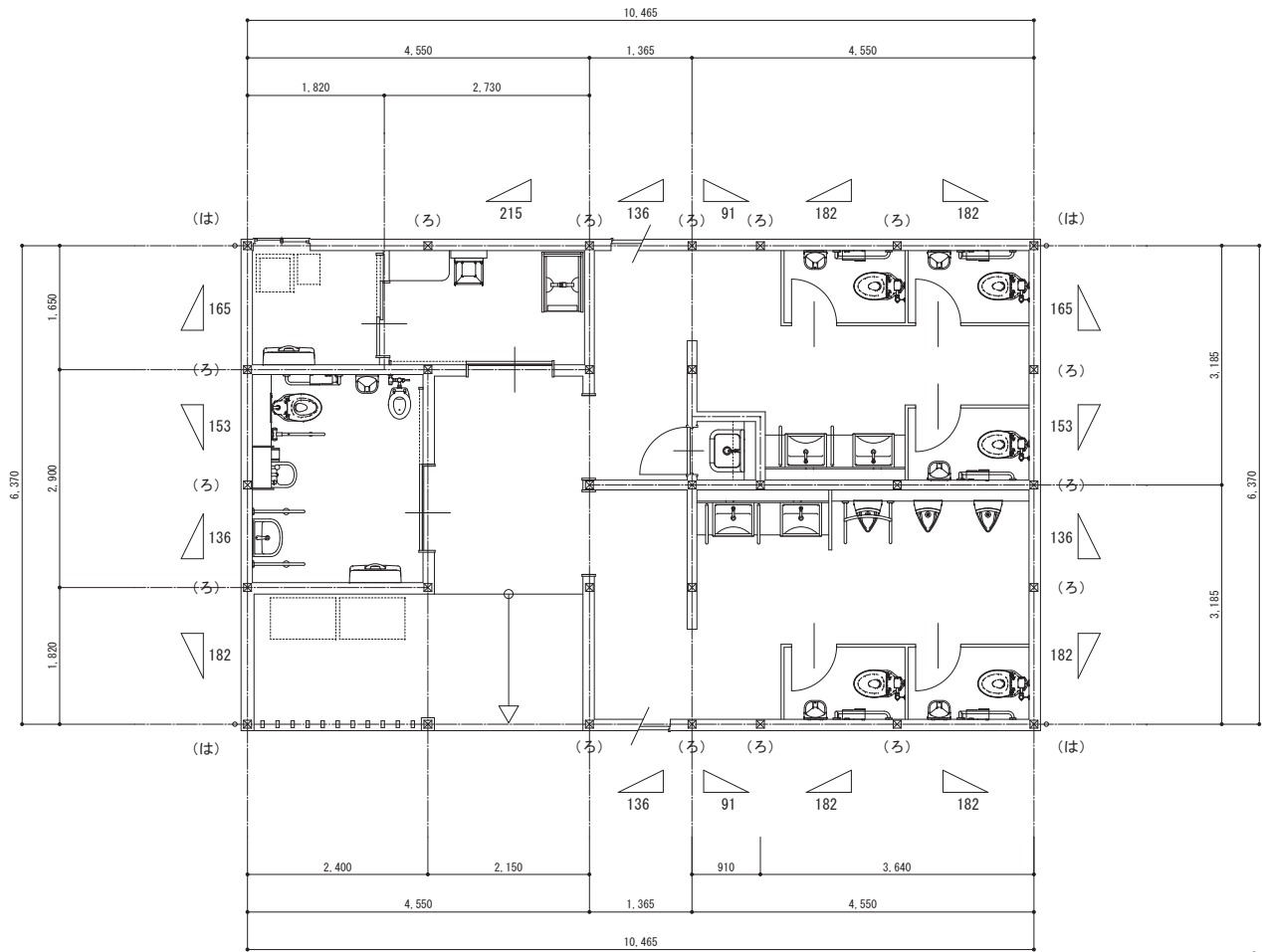


KEYPLAN

記 号	AW 1	男女WC（前室） 2	AW 2	授乳室 1	LSD 1	多目的WC，前室 2
姿 図						
形 式	FIX		引違い窓		ハンガードア	
材質・仕上	アルミ（カラー）		アルミ（カラー）		軽量スチール焼付塗装	
見 込					40	
硝 子	70-tt5		70-tt5+A12+型板t4		型板t4	
金 物	水切り		クレセント、水切り、網戸		戸当、取手、表示錠（多目的WCのみ）	
	住宅用（07407）		住宅用（06907）		ガラリ	
備 考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式（スム-ト：三和シャッター同等品）	

記 号	LSD 2	授乳室 1	WD 1	S K 1	TB 1	男子WC 1
姿 図						
形 式	ハンガードア		片開き戸		トイレブース	
材質・仕上	軽量スチール焼付塗装		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
見 込	40		30		30	
硝 子	型板t4					
金 物	戸当、取手、表示錠、ガラリ		レバーハンドル、丁番		脚金物	
			シリンダー錠			
備 考	付属金物一式（スム-ト：三和シャッター同等品）		付属金物一式		付属金物一式	

記 号	TB 2	男子WC 1	TB 3	女子WC 1	TB 4	女WC 1
姿 図						
形 式	トイレブース		トイレブース		トイレブース	
材質・仕上	メラミン化粧合板		メラミン化粧合板		メラミン化粧合板	
見 込	30		30		30	
硝 子						
金 物	脚金物、表示錠×2、ラパトリーヒンジ、帽子掛		脚金物、表示錠×2、ラパトリーヒンジ、帽子掛		脚金物、表示錠×2、ラパトリーヒンジ、帽子掛	
備 考	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	



平 面 図

△ : 筋交い45×90

金物リスト

(ろ) : かど金物 (CP・L)

(は) : 山形プレートV P

(に) : 羽子板ボルトM12

(ほ) : 羽子板ボルトSB-E 六角ボルトM12

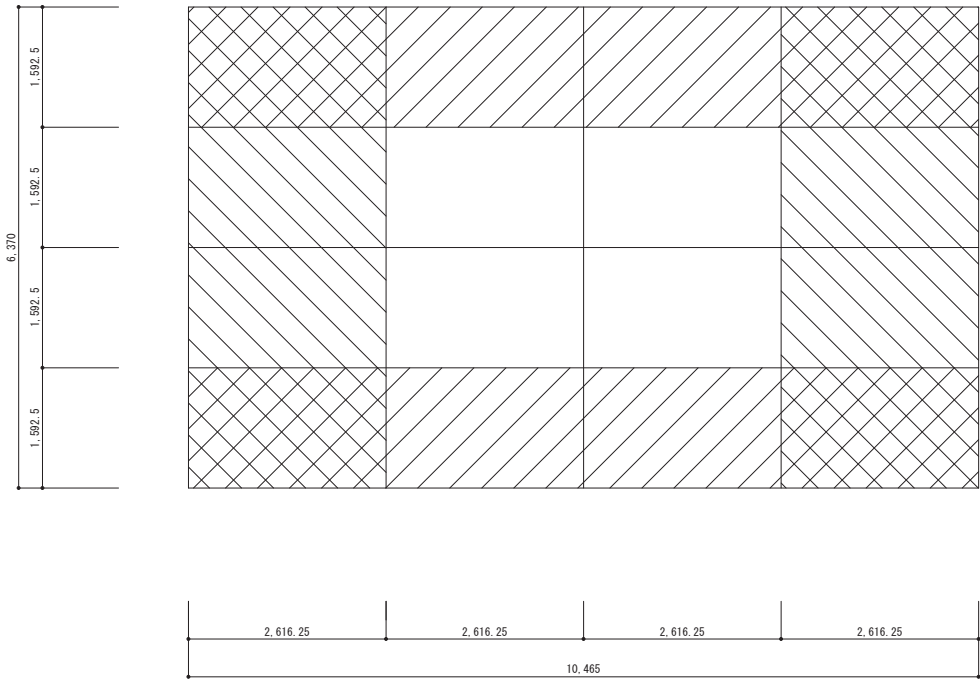
(へ) : ホールダウン金物 S-HD10

(と) : ホールダウン金物 S-HD15

(ち) : ホールダウン金物 S-HD20

側端部分 (上, 下) 面積 :  $10.465 \times 1.5925 = 16.6655 \rightarrow 16.67\text{m}^2$

側端部分 (右, 左) 面積 :  $2.61625 \times 6.37 = 16.6655 \rightarrow 16.67\text{m}^2$



求 積 図

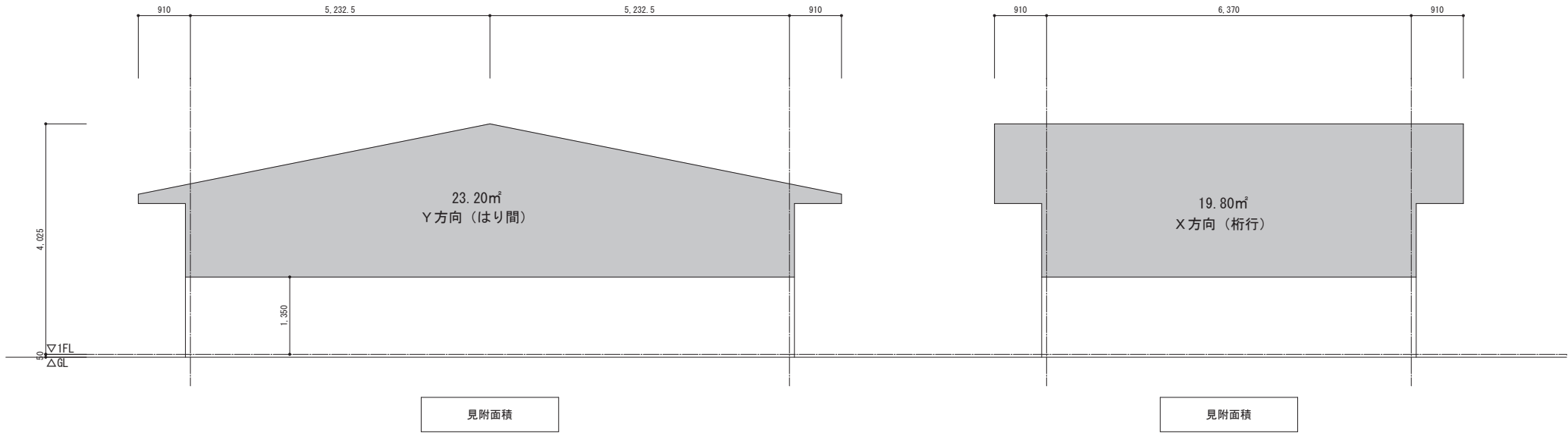
特 記	
事 項	



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南トイレ棟)	工事名称	図面名称	平面図 (耐力壁)	南ト A-19 No.
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第300579号 丹沢 浩己	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日					

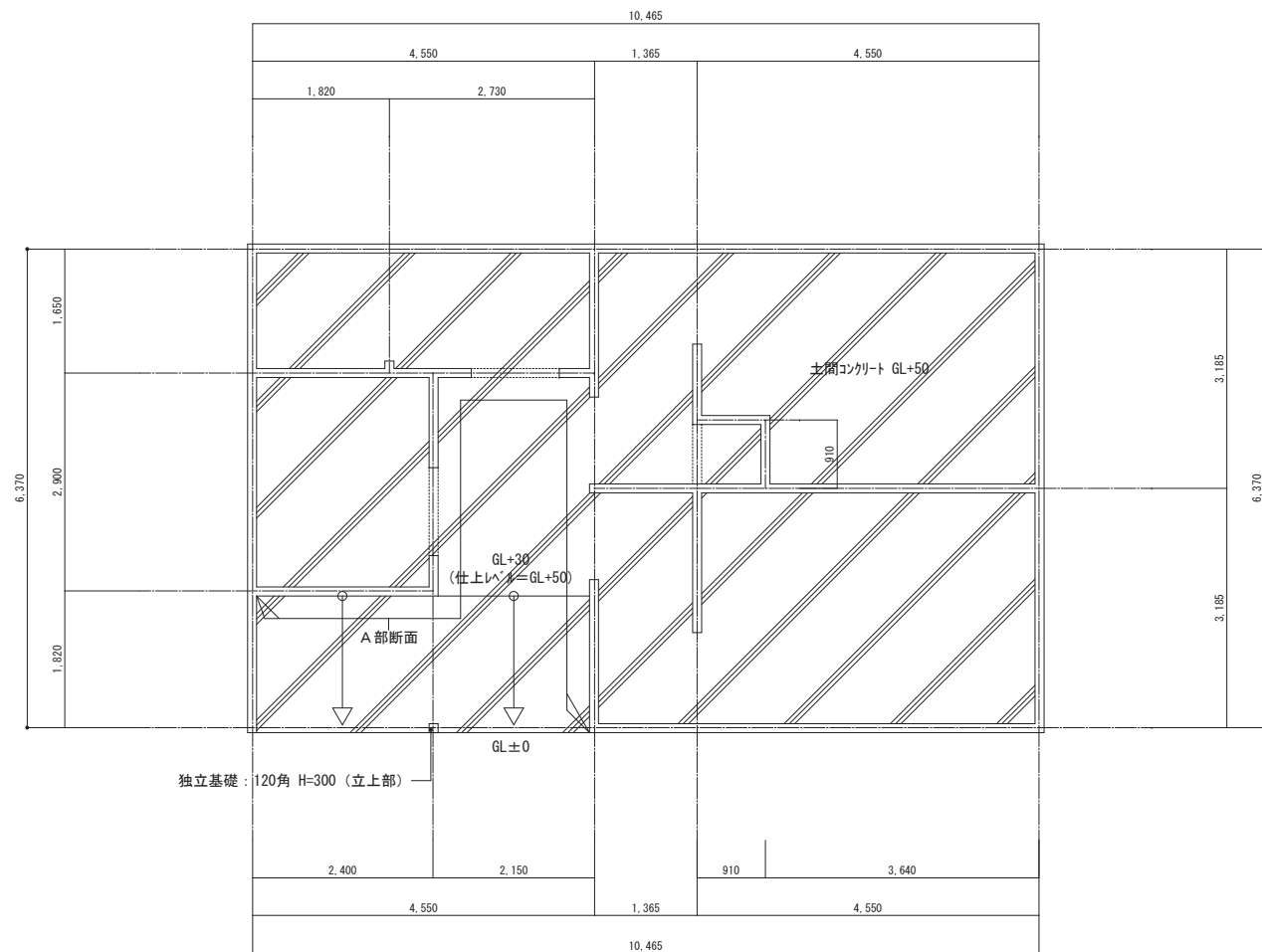




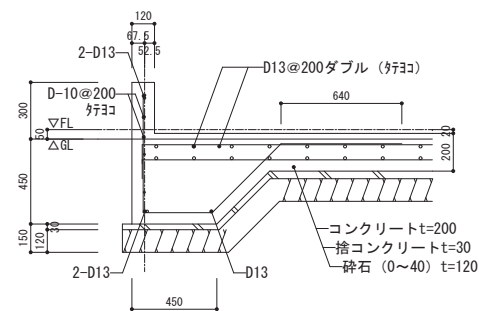
必要壁量	階数	地震力に対する必要壁量 (cm)	風圧力に対する必要壁量 (cm)		必要壁量	
		X方向 (桁行) , Y方向 (はり間)	X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
	1階	床面積 (㎡) (cm) 66.66 × 11 = 733.26	見付面積 (㎡) (cm) 19.80 × 50 = 990.00	見付面積 (㎡) (cm) 23.20 × 50 = 1160.00	990.00cm	1160.00cm

壁量計算	階数	耐力壁の種類 (S56建告1100)	倍率	有効壁量 (cm)		判 定	
				X方向 (桁行)	Y方向 (はり間)	X方向	Y方向
				壁長 × 倍率 = 有効壁長	壁長 × 倍率 = 有効壁長		
	1階	筋交い45×90	2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	91 × 2 × 2.0 = 364 136 × 2 × 2.0 = 544 182 × 4 × 2.0 = 1456 215 × 1 × 2.0 = 430	136 × 2 × 2.0 = 544 153 × 2 × 2.0 = 612 165 × 2 × 2.0 = 660 182 × 2 × 2.0 = 728	2794>990	2544>1160
				2794.00	2544.00	○K	○K

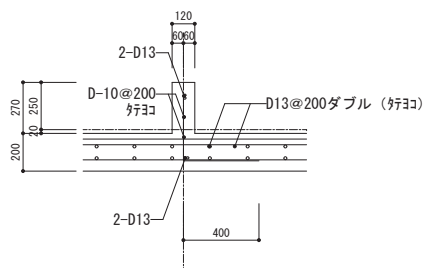
耐力壁配置検討								
階数		X方向			Y方向			
		側端部分（上）		側端部分（下）	側端部分（左）		側端部分（右）	
1階	存在壁量 (cm)	91×1×2.0=182	182×2×2.0=728	91×1×2.0=182	136×1×2.0=272	165×1×2.0=330	136×1×2.0=272	165×1×2.0=330
		136×1×2.0=272	215×1×2.0=430	136×1×2.0=272	153×1×2.0=306	182×1×2.0=364	153×1×2.0=306	182×1×2.0=364
				182×2×2.0=728				
	合計	1612	合計	1182	合計	1272	合計	1272
	床面積 (㎡)	16.67		16.67	16.67		16.67	
	必要壁量 (cm)	16.67 × 11 = 183.37		16.67 × 11 = 183.37	16.67 × 11 = 183.37		16.67 × 11 = 183.37	
	壁量充足率	1612 / 183.37 ≒ 8.79 > 1.0		1182 / 183.37 ≒ 6.44 > 1.0	1272 / 183.37 ≒ 6.93 > 1.0		1272 / 183.37 ≒ 6.93 > 1.0	
	壁量比	――			――			



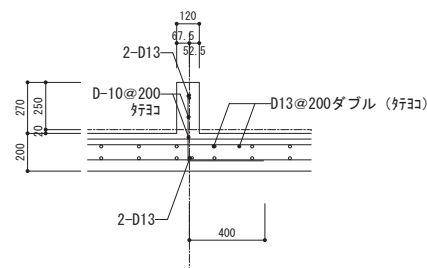
基礎伏図



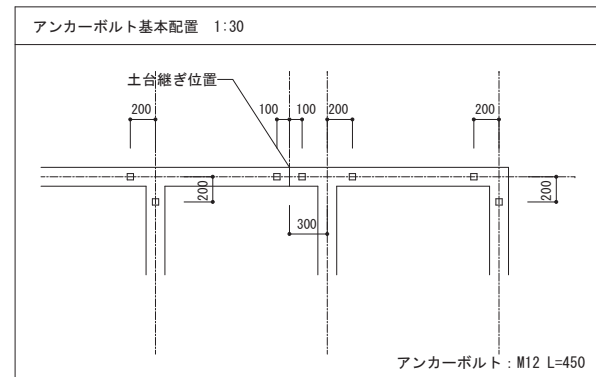
外周部断面 1:20



内部断面 1:20



A部断面 1:20



特記事項

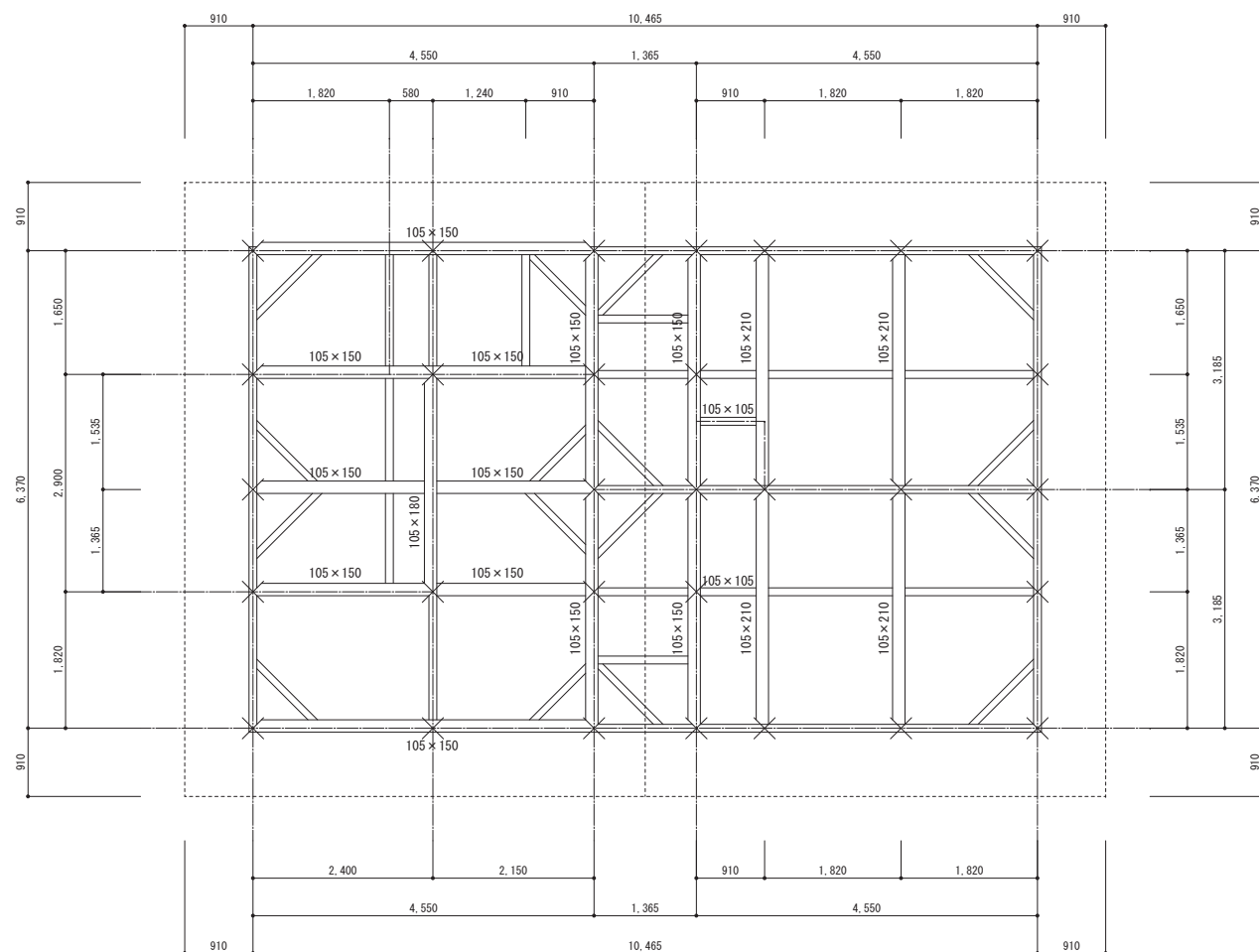


山梨建築設計監理事業協同組合

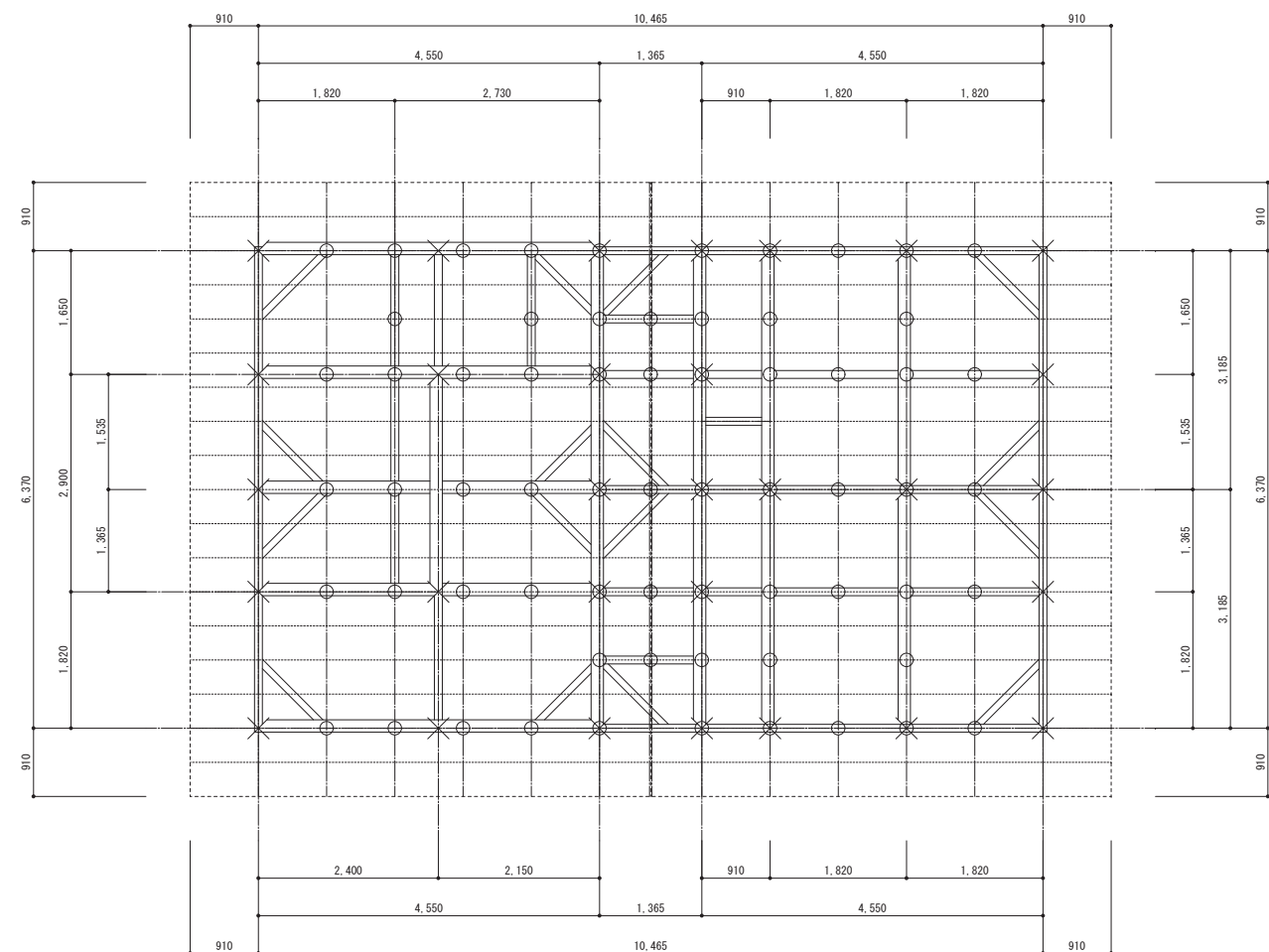
承認 代表設計者 設計担当者 縮尺  
一級建築士 一級建築士 A1→1/50 A3→1/100  
第145710号 第300579号 設計年月日  
佐野 正秀 丹沢 浩己

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事  
(南トイレ棟)  
図面名称 基礎伏図

南ト A-21  
No.



梁・頭繋 特記なきは105×120   
火打材：90×90



棟木 105 × 105

母屋 105 × 105 @ 910

小屋束 105 × 105

垂木 45 × 60 @ 455